

2025 年度

事業報告書

社会福祉法人 向陽会

たちね学園

やまびこ医療福祉センター

みなよし療護園

2025年度（令和7年度） 事業報告

社会福祉法人 向陽会

本年度、法人本部は持続可能な福祉サービスの提供と組織基盤の強化を重点方針に掲げ、全体最適の視点から多岐にわたる改革を推進してまいりました。

2025年度

- ・事務当直体制の見直しを実施し、2025年4月より平日専従者・土日祝警備会社委託体制へ移行。
- 入院時食事療養費（Ⅰ）を2025年5月より算定開始し、施設基準への適合および安定運用を確立。
- ・給食材料費の按分方法を延べ利用者数基準へ見直し、原価配賦の適正化を実施。
- ・法人連絡会において全体収支の定例報告を開始し、経営情報の可視化を推進。
- 次世代事業検討プロジェクトを立ち上げ、新規事業の検討体制を構築。
- ・理事長提案ボックスの電子化を実施し、職員からの意見収集機能を強化。
- ・全日本病院協会へ入会し、外部ネットワークとの連携体制を強化。
- ・全日本病院協会主催の医療DX人材育成プログラムを受講し、DX推進人材の育成を実施。併せて、部門責任者研修へ職員1名を派遣。
- 四半期決算報告の運用を開始し、定期的な業績モニタリング体制を確立。
- ・法人連絡会を見直し、経営幹部会議へ移行するとともに、合議制による意思決定体制へ転換。
- ・予算書および事業計画書の作成方法を見直し、数値管理を重視した様式へ転換。
- ・資産運用方針を策定し、資金運用委員会を通じて公共債中心の運用へ移行。
- ・生産性向上助成金を活用し、設備投資および業務効率化を推進。
- DX推進担当を各部署に設置し、法人全体でのデジタル化推進体制を構築。
- ・リハ部看護部を中心に臨時入所リハビリテーションの見直しを実施し、サービス提供体制を再構築。
- ・社会福祉法人向陽会創立60周年記念誌「TO THE NEXT & YEARS」を作成。
- 記念誌制作企画の一環として、若手職員交流会「未来の向陽会」を開催
- ・資金運用に関する内部統制の強化及び運用判断の統一を目的として、資金運用規程の新設
- 事業所認定新規：健康経営優良法人2026（大規模法人部門）
- ・事業所認定継続：えるばし認定段階3（女性活躍推進法）
- ・2025年度「鹿児島県女性活躍推進優良企業101人以上の部」受賞。

など

以上、主な各項目に関して法人および各事業所とともに取り組んでまいりました。

次年度も、これらの改革を一過性の取り組みで終わらせることなく、制度・運営の定着とさらなる高度化を図る重要な一年となります。経営管理の精度向上・DXの実装拡大、人材育成の体系化、新規事業の検討深化など、本年度に築いた基盤を発展させ、法人全体の持続的成長につなげてまいります。今後とも各関係者の皆様におかれましては、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

【主な法人全体の活動内容】

◎人事採用活動

- (1) 新卒者対象職種：看護師、介護福祉士、介護員、保育士、理学療法士、
作業療法士、
ハローワーク、県内各高等学校、短期大学、専門学校、大学への求人採用活動（学校訪問、
DM送付等）、高校生とその保護者に対する合同企業説明会、県内企業と高校就職指導担当者
との情報交換会
- (2) 中途採用者対象職種：看護師、准看護師、介護福祉士、保育士、児童指導員、
児童指導員補助
ハローワーク紹介求人、福祉のお仕事（県社会福祉協議会主催）、鹿児島県就職情報サイト、
（かごjob）、インディード、鹿児島県ふるさと人材相談室、看護協会、医師共同組合への求
人掲載による採用活動。
「就職ガイダンス」県社会福祉協議会、県市町村主催、企業説明会を活用した訪問活動、
Web広報による求人活動、その他採用募集の労務研修会、人権同和研修会への参加。
- (3) 採用試験実施
実施回数 29回

◎行事・福利厚生

- ・2026年1月5日仕事始めの式
- ・中高年齢健康診断 240名

(1) 法人表彰(仕事始めの席上) 2026年1月5日

勤続30年表彰

やまびこ医療福祉センター 7名

勤続20年表彰

やまびこ医療福祉センター 1名

(2) 鹿児島市医師会長表彰(看護業務功労) 2025年6月14日

やまびこ医療福祉センター 1名

(3) 日本重症心身障害福祉協会表彰 2025年5月22日

やまびこ医療福祉センター 10名

(4) 鹿児島市社会福祉功労者表彰 2025年6月27日

やまびこ医療福祉センター 6名

(5) 鹿児島県知事表彰 2025年6月30日

やまびこ医療福祉センター 5名

(6) 鹿児島県社会福祉協議会表彰 2025年10月31日

やまびこ医療福祉センター 13名

◎法人の許認可関係

・2025年6月23日

資産総額変更 8,243,307,043円

◎苦情解決第三者委員会開催

第1回 2025年5月27日(火)

苦情解決第三者委員 3名

各施設からの責任者及び担当者等 8名

◎監事監査実施状況

・2025年5月27日(火)

2025年度法人本部会計並びに施設会計及び利用者・職員の処遇等

◎理事会・評議員会の報告

第1回理事会 2025年5月29日(木)

第1号議案 2024年度理事長専決に伴う契約及び固定資産物品処分及び寄附金受入の報告の件 (本部・やまびこ・みなよし・たらちね)

第2号議案 2024年社会福祉法人向陽会予備費使用の報告の件

第3号議案 2024年度法人本部事業報告及び収支決算案の承認の件

第4号議案 2024年度やまびこ医療福祉センター事業報告及び収支決算案の承認の件

第5号議案 2024年度みなよし療護園事業報告及び収支決算案承認の件

第6号議案 2024年度たらちね学園事業報告及び収支決算案承認の件

第7号議案 2024年度社会福祉法人向陽会収支決算案の承認の件

第8号議案 2024年度資金運用状況の報告の件

第9号議案 監事監査報告の件

第10号議案 やまびこ医療福祉センターパソコン購入の事業計画の件

第11号議案 やまびこ医療福祉センター照明器具取替工事の事業計画の件

第12号議案 やまびこ医療福祉センターLPガス非常用発電機・災害バルク(自衛的な燃料備蓄設備)の設置、並びに電源接続工事の事業計画及び契約について

第13号議案 各種規程改正の件

(1)社会福祉法人向陽会短時間勤務職員就業規則の一部改正

(2)社会福祉法人向陽会資金運用規程の一部改正

第14号議案 各種規程新設の件

(1)社会福祉法人向陽会宿直専従職員就業規則

(2)社会福祉法人向陽会生成AI利用規程

(3)社会福祉法人向陽会パソコン持ち出し規程

- 第15号議案 会計監査人の選任案の件
- 第16号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定の件
- 第17号議案 任期満了に伴う新役員の選任及び新評議員選任候補者の推薦の件
- 第18号議案 特別功労金の件
- 第19号議案 2025年度社会福祉法人向陽会法人本部第一次補正予算書案承認の件

第2回理事会 2025年6月20日(金)

- 第1号議案 代表理事の選任案の件
- 第2号議案 やまびこ医療福祉センターパソコン等の更新及び追加購入契約承認の件
- 第3号議案 やまびこ医療福祉センター照明器具取替工事契約承認の件
- 第4号議案 やまびこ医療福祉センター第一次補正予算書案の承認の件

第3回理事会 2025年9月26日(金)

- 第1号議案 監督官庁による指導監査報告の件
 - (1) やまびこ
 - (2) たらちね
- 第2号議案 やまびこ医療福祉センター予備費使用の報告の件
- 第3号議案 みなよし療護園予備費使用の報告の件
- 第4号議案 たらちね学園予備費使用の報告の件
- 第5号議案 社会福祉法人向陽会法人本部第一次補正予算書案承認の件
- 第6号議案 やまびこ医療福祉センター第一次補正予算書案承認の件
- 第7号議案 各種規程改正の件
 - ①障害者支援施設みなよし療護園運営規程
 - ②社会福祉法人向陽会職員慶弔規程
 - ③やまびこ医療福祉センター給与規程
 - ④やまびこ医療福祉センター短時間勤務職員給与規程
 - ⑤みなよし療護園給与規程
 - ⑥みなよし療護園短時間勤務職員給与規程
 - ⑦たらちね学園給与規程
 - ⑧たらちね学園短時間勤務職員給与規程
- その他 やまびこ医療福祉センター関係諸取扱いについて(報告)

第4回理事会 2025年12月19日(金)

- 第1号議案 監督官庁による指導監査報告の件
 - やまびこ医療福祉センター
- 第2号議案 みなよし療護園第一次補正予算書案の件
- 第3号議案 やまびこ医療福祉センターの病床削減(9床)の提案の件

第5回理事会 2026年2月 25日(水)

- 第1号議案 監督官庁による指導監査報告の件
 - (1) 法人本部
 - (2) みなよし療護園
- 第2号議案 特別功労金の件
- 第3号議案 社会福祉法人向陽会第二次補正予算書案の件
- 第4号議案 規程新設の件
 - (1) 社会福祉法人向陽会クレジットカード使用規程
- 第5号議案 規程改正の件
 - (1) 社会福祉法人向陽会経理規程の一部改正
 - (2) 社会福祉法人向陽会就業規則の一部改正
 - (3) 社会福祉法人向陽会職員慶弔規程の一部改正
- 第6号議案 みなよし療護園資金運用に係る証券会社の選定及び口座開設の件

第6回理事会 2026年3月 16日(月)

- 第1号議案 2025年度やまびこ医療福祉センター予備費使用報告の件
- 第2号議案 2025年度やまびこ医療福祉センター第三次収支補正予算案の承認の件
- 第3号議案 2025年度みなよし療護園第二次収支補正予算案の承認の件
- 第4号議案 2025年度たらちね学園第一次収支補正予算案の承認の件
- 第5号議案 2025年度本部会計第三次収支補正予算案の承認の件
- 第6号議案 2026年度資金運用計画及び保有限度額・損失限度額の承認の件
- 第7号議案 2026年度社会福祉法人向陽会固定資産購入計画案の件
- 第8号議案 2026年度法人事業計画及び本部会計の当初予算案の承認の件
- 第9号議案 2026年度やまびこ医療福祉センター固定資産購入計画案の承認の件
- 第10号議案 2026年度やまびこ医療福祉センター事業計画及び当初予算案の承認の件
- 第11号議案 2026年度みなよし療護園事業計画及び当初予算書案の承認の件
- 第12号議案 2026年度たらちね学園事業計画及び当初予算案の承認の件
- 第13号議案 2026年度やまびこ医療福祉センター固定資産物品購入に係る契約の承認の件
(生活介護事業送迎用車両買替)
- 第14号議案 規程改正の件
 - (1) 社会福祉法人向陽会経理規程の一部改正
 - (2) やまびこ医療福祉センター業務分掌規程の一部改正
 - (3) みなよし療護園給与規程の一部改正
- 第15号議案 法人事務局長及び施設長人事に関する件

第1回評議員会 2025年 6月20日(金)

- 第1号議案 2024年度社会福祉法人向陽会事業報告及び本部会計収支決算報告の件
- 第2号議案 2024年度やまびこ医療福祉センター事業報告及び収支決算報告の件

第3号議案	2024年度みなよし療護園事業報告及び収支決算報告の件
第4号議案	2024年度たらちね学園事業報告及び収支決算報告の件
第5号議案	2024年度社会福祉法人向陽会収支決算報告の件
第6号議案	監事監査報告の件
第7号議案	会計監査人の選任の件
第8号議案	新役員の選任の件
第9号議案	監事監査報告の件

◎システム管理室

Ⅰ、市販ソフトウェアの問い合わせ一次窓口および編集可能領域の編集、これらを提供して下さる業者との連絡

PKG製品名	備考
ApexOne	ウィルス対策ソフトウェア
AppGuard	マルウェア対策ソフトウェア
I-PACS SX	やまびこPACS(医用画像管理システム)
ORCA	やまびこレセプト
Raporte	やまびこ電子カルテ
Xronos	勤怠管理システム
Zaion'nex	勤怠申請管理システム
desknet's	グループウェア
スマート大臣 明細配信	給与明細
スマート大臣 証憑保管	電子請求書
セルヴィスEX	看護師勤務割システム
福祉大臣	社会福祉法人会計ソフト
給与大臣	給与計算
障がい者総合支援システム	やまびこのみ使用

2、KouyoukaiSystem(向陽会で自前作成したツール)の新規作成、保守

MedicalDeviceManagement、pclocationuser、PEDI Data Entry、たらちね学園児童管理、たらちね業務管理、たらちね心理療法評価管理システム、みなよし療護園リハビリテーション管理、みなよし療護園入所者預金口座振替データ作成ツール、やまびこおむつ使用数入力、やまびこ医療器材発注管理、やまびこ医療機器管理、やまびこ勤務計画検索ツール、やまびこ口腔ケア用品関連ツール、やまびこ歯科衛生係実績管理システム、やまびこ重度心身障害者医療費助成金申請書作成ツール、やまびこ地域福祉係実績管理システム、やまびこ日用品費履歴管理ツール、やまびこ発達外来受付票ツール、やまびこ薬剤係実績管理、るっか利用者書類管理システム、給与大臣補完システム、勤務表ツール、経費精算システム、自動車通勤使用管理システム、職員管理、職員証印刷ツール、職員食申込ツール、職員人事調査書、人事考課管理システム、当直日誌管理ツール、福祉大臣補完システム、予算要望ツール、たらちね学園児童記録管理ツール、短期入所計画・実績管理ツール、相談支援記録管理ツール、社保等級変動抽出等簡易ツール、携帯電話番号収集アプリ、採用予定計画アプリ、職員研修旅行管理アプリ、通勤車両管理アプリ、勤務命令書アプリ、経費精算アプリ、障害福祉サービス等情報公表システムデータ+鹿児島

県小中学校生徒数+外来リハ利用者+緯度経度取得アプリ、職員用予防接種管理アプリ、採用選考管理アプリ、speech_to_text、DeepFace_CPU_Systemアプリ、yomitokuアプリ、職員食申込アプリ、社内日程調整くんアプリ

Dr支援ツール、やまびこリハビリテーション総合実施計画書提出有無ツール、やまびこリハビリテーション予定実績リハ診察管理ツール、やまびこ心理実施統計ツール、やまびこ心理療法評価管理システム、やまびこ摂食カード管理ツール、やまびこ通所支援係日誌管理ツール、やまびこ入所者管理システムVer2、やまびこ褥瘡予防対策書類作成ツール、栄養ケアマネジメント管理
通所日誌アプリ、Raporteユーザー文書一覧アプリ、リハビリ業務日報管理アプリ

3、その他

パソコン並びに市販ソフトウェア、KouyoukaiSystemと連動する仕組みの構築、保守、パソコンの購入支援、初期設定、修繕、ネットワーク保守、ホームページ運用、QT PRO マネージドセキュリティ運用、Zoom支援
(以降、室長のみ)評議員会、理事会、相談・苦情解決第三者委員会の司会および議事録作成、人事考課運用支援、その他司会、合同企画委員会、敬老会あいさつ回り

2025 年度

事 業 報 告 書

児童養護施設

た ら ち ね 学 園

目次

令和7年度事業報告概要	ページ 1
年間行事実施報告	2～4
月別実施報告	5～8
職員研修報告	9～10
地域や支援者等との交流報告	11
月別在籍状況	12
専門的な支援についての報告	13～14
入所率推移	15
出身地別・主訴別状況	16
給食報告	17～18
職員の職種別定数及び現員数	19
寄付金品受け入れ状況	20～21

2025年度事業報告 概要

子どもにとって最善の利益を考えながら、様々なニーズに応え、安心と安全を提供しました。また、子どもが前向きな気持ちを持って、将来に自信を持って社会で生活できるように心と体の両方の成長を大切にしました。

【施設の稼働状況】

社会的養護を必要とする児童の施設ニーズは引き続き高い状況にある。当園における入所および一時保護委託を合わせた年間平均稼働率は97.5%となり、施設としての受け入れ機能は高い水準で維持されました。

一方で、一時保護委託の長期化傾向が顕著であり、その影響を受けて措置児童の在園率は年間平均89%にとどまりました。年間入所率については90%以上を目標としていましたが、わずかに下回る結果となりました。

今年度の一時保護委託児童の受け入れは21名、委託延べ日数は1,216日となり、前年度（令和6年度）比で約1.6倍と大幅に増加しました。なお、委託児童のうち1名が措置入所へ移行しています。

【人材の確保】

人材確保については、令和7年度は年度当初に心理職1名と児童指導員2名を新規採用しましたが、児童指導員1名が年度途中で離職した為、新たに1名を追加採用し、サービスの質の低下を最小限に抑えることができました。

【事業の展開】

令和6年度に引き続き、令和7年度においても施設の高機能化・多機能化を見据えた地域支援体制の強化を目的として、児童家庭支援センターの設置について県担当課へ相談を行いました。しかしながら、設置に関しては現時点において具体的な整備に至る状況にはなく、引き続き制度動向や地域ニーズを踏まえた慎重な検討が必要な段階にあります。

これまで当園では、施設機能の拡充に関する検討を中心に進めてきましたが、今後は地域分散化の視点も含め、より包括的な事業展開のあり方について並行して検討を進めていく必要があります。

【退園者支援】

退所者支援につきましては、県内・県外の退所者を訪問にて状況確認を行うと同時に、寄付金を活用して生活支援等を行いました。

【指導監査について】

鹿児島地域振興局地域保健福祉課指導監査介護係

実施日 令和7年9月4日に実施

・文書指摘 なし

・口頭指摘 なし

【社会的養護施設第三者評価の受診について】

評価機関 鹿児島県社会福祉士会

調査日 令和7年11月19日、20日

評価結果 全国社会福祉協議会 社会的養護施設第三者評価

※ 評価結果は下記URLを参照ください。

<https://shakyo-hyouka.net/search/index.php>

児童年間行事実施報告

期 日	内 容	場 所	参加児童数	参加職員数
4月6日	入園入学おめでとうディナー	学園内食堂	36 名	10 名
4月14日	4月誕生会	学園内(マクドナルド)	1 名	1 名
4月20日	4月誕生会	はま寿司草牟田店	2 名	1 名
5月3日	幼児外出	吉野公園、石橋公園	5 名	3 名
5月3日	女子棟(女子GW)外出	やぶさめの里総合公園 アイランドスポーツクラブキタガワ	14 名	5 名
5月4日	幼児棟(低年齢児童)外出	健康の森公園	6 名	7 名
5月4日	スイーツバイキング	学園食堂	29 名	12 名
5月5日	男子棟(男子GW)外出	鹿児島ミッテ10イオン鹿児島	9 名	3 名
5月6日	昼食パーティー	たらちね学園 食堂	5 名	9 名
5月7日	5月誕生会	マクドナルド	1 名	1 名
5月17日	ファミリーコンサート鑑賞	宝山ホール	8 名	2 名
5月18日	5月誕生会	青紗一龍	2 名	1 名
5月23日	やす子食事会①	グランブッフエ(イオン鹿児島)	2 名	1 名
6月7日	やす子食事会②	ステーキガスト(宇宿)	5 名	2 名
6月8日	6月誕生会	とんかつ竹亭	1 名	1 名
6月14日	幼児調理実習	幼児室	7 名	2 名
6月22日	6月誕生会	焼肉ライク	1 名	1 名
6月22日	たらちね映画祭	学園内会議室	名	24 名
6月27日	やす子食事会③	ステーキガスト(宇宿)	5 名	2 名
6月28日	担当別活動	健康の森公園	2 名	1 名
6月29日	担当別活動	天文館アニメイト	2 名	1 名
7月5日	やす子食事会④	ジョイフル	8 名	3 名
7月22日	やす子食事会⑤	寿司まどか	9 名	2 名
7月27日	7月誕生会(1班)	ジョリーパスタ	3 名	1 名
7月27日	7月誕生会(2班)	すきや3号鹿児島草牟田店	1 名	1 名
7月28日	そうめん流し	学園園庭、食堂	20 名	11 名
7月30日	やす子食事会⑥	カレーCoco壱番屋	3 名	2 名
8月4日	夏休み男子棟活動1班	アドベンチャーパーク森のかわな	7 名	2 名
8月6日	夏休み男子棟活動2班	ダグリ岬遊園地 他	6 名	2 名
8月12日	夏休み幼児棟活動	川内宇宙館、寺山いこいの広場	7 名	5 名
8月25日	夏休み女子棟活動	ラウンドワンスタジアム鹿児島	14 名	4 名
8月26日	パティシエ体験(招待)	French Blue	12 名	6 名

児童年間行事実施報告

期 日	内 容	場 所	参加児童数	参加職員数
8月26日	キッチンカーを呼ぼう	学園駐車場	38 名	12 名
8月28日	8月誕生会	くら寿司、イオンタウン始良	5 名	3 名
9月8日	担当別活動	鹿児島シティービュー周遊	1 名	1 名
9月12日	やす子食事会⑦	ジョイフル	6 名	2 名
9月23日	バーベキュー大会	学園園庭	38 名	8 名
9月24日	やす子食事会⑧	ジョリーパスタ	2 名	2名
10月12日	やす子食事会⑨	ジョイフル	7 名	2 名
10月13日	たらちね学園スポーツ大会	皆与志小学校体育館	34 名	12 名
10月18日	10月誕生会	ココス鹿児島宇宿	2 名	2 名
10月19日	まち美化活動(通学路ゴミ拾い)	学園～牟田ヶ平	23 名	6 名
10月26日	調理実習	学園調理室	3 名	1 名
11月1日	やす子食事会⑩	ジョイフル(郡山)	7 名	2 名
11月10日	やす子食事会⑪	ガスト(草牟田)	1 名	1 名
11月22日	令和7年度児養協レクリエーション大会	伊集院総合体育館	26 名	6 名
11月23日	調理実習(チョコバナナ・パンケーキ)	幼児室	6 名	3 名
11月23日	担当別活動	いおワールド鹿児島水族館	2 名	1 名
11月24日	11月誕生会	ココス鹿児島宇宿	5 名	2 名
11月29日	七五三撮影	護国神社、ガスト	3 名	2 名
11月30日	たらちね祭り	学園園庭	39 名	18 名
12月13日	やす子食事会⑫	モスバーガー鹿児島市伊敷	4 名	2 名
12月13日	調理実習(クリスマスケーキ)	学園調理実習室	6 名	2 名
12月20日	調理実習(サンドイッチ)	学園調理実習室	2 名	1 名
12月20日	担当別活動	健康の森公園/アミュプラザ鹿児島	2 名	1 名
12月20日	12月誕生会	アートホテル鹿児島	5 名	3 名
12月21日	担当別活動	いおワールド鹿児島水族館	1 名	1 名
12月24日	ウィンターパーティー	学園内	39 名	17 名
12月27日	担当別活動	鹿児島市交通局	1 名	1 名
12月28日	餅つき大会	学園駐車場	40 名	10 名
1月2日	正月男子棟外出	ラウンドワンスタジアム宇宿	9 名	2 名
1月3日	正月女子棟外出	カラオケ まねきねこ	16 名	3 名
1月4日	調理実習 (鉄板焼き・餃子)	学園内調理実習室	14 名	2 名
1月17日	激励会	学園食堂	39 名	10 名
1月24日	幼児棟外出活動	いちご狩り(片平観光農園)	5 名	5 名

児童年間行事実施報告

期 日	内 容	場 所	参加児童数	参加職員数
1月25日	1月誕生会	オプシアミスミ	1 名	1 名
1月25日	担当別活動	平川動物公園	2 名	1 名
2月11日	2月誕生会	イオンモール東開	1 名	1 名
2月15日	DVD鑑賞会	各棟	39 名	名
2月22日	担当別活動	猫たちの絆マルシェ	2 名	1 名
3月9日	退園生向け調理実習	食堂内キッチン	1 名	1 名
3月15日	退園式/お別れ食事会	会議室/ふぁみり庵・はいから亭	38 名	22 名
3月16日	卒園お祝い会	幼児室	7 名	4 名
3月16日	退園式	学園会議室	37 名	13 名
3月22日	3月誕生会	はま寿司	4 名	2 名
3月26日	お別れ遠足	三井グリーンランド	36 名	15 名

月別行事実施報告

4 月		5 月		6 月	
1	火	1	木	1	日
2	水	2	金	2	月
3	木	3	土	3	火
4	金	4	日	4	水
5	土	5	月	5	木
6	日	6	火	6	金
7	月	7	水	7	土
8	火	8	木	8	日
9	水	9	金	9	月
10	木	10	土	10	火
11	金	11	日	11	水
12	土	12	月	12	木
13	日	13	火	13	金
14	月	14	水	14	土
15	火	15	木	15	日
16	水	16	金	16	月
17	木	17	土	17	火
18	金	18	日	18	水
19	土	19	月	19	木
20	日	20	火	20	金
21	月	21	水	21	土
22	火	22	木	22	日
23	水	23	金	23	月
24	木	24	土	24	火
25	金	25	日	25	水
26	土	26	月	26	木
27	日	27	火	27	金
28	月	28	水	28	土
29	火	29	木	29	日
30	水	30	金	30	月
		31	土		

月別行事実施報告

7 月			8 月			9 月		
1	火	事業所説明会(特支高) 全体職員会議	1	金	出校日(河中)	1	月	各学校始業式
2	水		2	土	あいご会活動	2	火	
3	木	校内水泳大会(皆小)・PTA/教育相談	3	日		3	水	全員職員会
4	金		4	月	男子棟外出①/介護体験/三者面談	4	木	県指導監査 子どもの虹研修(横浜)
5	土		5	火	三者面談 理事会	5	金	授業参観・PTA
6	日		6	水	男子棟外出②	6	土	
7	月		7	木		7	日	
8	火	施設長会	8	金	就学前相談会	8	月	
9	水		9	土		9	火	全体諸金会議/子どもの虹情報 研修
10	木		10	日		10	水	
11	金		11	月	介護体験～15日迄	11	木	授業参観・学校PTA(皆小)
12	土	授業参観・学年末PTA	12	火	幼児外出	12	金	やす子夕食会⑥
13	日		13	水	墓清掃	13	土	担当別活動
14	月	鹿児島市児養協研修会	14	木	避難訓練(夜間)	14	日	体育祭(河中)
15	火	照国神社補導	15	金		15	月	
16	水		16	土		16	火	四者面談(特支)
17	木	避難訓練	17	日	PTA奉仕作業・資源リサイクル活動(皆小)	17	水	ハラスメント研修
18	金	各学校終業式	18	月	法人連絡会/介護体験～22日迄	18	木	避難訓練
19	土		19	火	法人連絡会	19	金	防災訓練
20	日		20	水		20	土	
21	月	出張カット(理容協会)	21	木		21	日	
22	火	やす子夕食会④	22	金	たらちね夏祭り	22	月	
23	水		23	土	やす子有食会⑤	23	火	バーベキュー大会
24	木	水泳記録会(小6)	24	日	PTA愛校作業	24	水	修学旅行(皆小5・6年)/やす子 夕食会⑦
25	金		25	月	女子棟外出/介護体験～29日迄	25	木	
26	土		26	火	パティシエ体験	26	金	体育祭(鹿商)
27	日	7月誕生会	27	水		27	土	
28	月	そうめん流し/三者面談(明桜館)	28	木	8月誕生会	28	日	
29	火	三者面談(中央高)	29	金		29	月	
30	水	やす子夕食会⑤	30	土	調理実習	30	火	
31	木	養育状況調査	31	日				

月別行事実施報告

10月			11月			12月		
1	水	授業参観（特支）/レジオネラ検査	1	土	オレンジリボン広報活動/やす子夕食会⑩	1	月	内部経理監査
2	木	全体職員会議/園内研修	2	日		2	火	全体職員会
3	金		3	月		3	水	
4	土	十五夜	4	火	施設長会/3歳児検診	4	木	持久走大会（皆小）
5	日		5	水	総合防災訓練/学校運営委員会	5	金	市小学校音楽会
6	月		6	木	全体職員会	6	土	権利擁護研修（高校女子）
7	火	授業参観（特支）	7	金	健康診断（小学生）	7	日	グランドゴルフ大会
8	水	コミュニティ協議会/児養協食育部会	8	土	授業参観・PTA（河中）	8	月	施設長会/経営幹部会議
9	木	BCP会議	9	日	学習発表会・校区文化祭/みなよし秋祭り	9	火	
10	金		10	月	全国施設長会～14日	10	水	授業参観（特支小）/BCP会議/コミュニティ協議会/三者面談
11	土	担当別活動	11	火	心理部会	11	木	授業参観（特支小）
12	日	やす子夕食会⑧	12	水	児童検診（小学生）	12	金	
13	月	たらちねスポーツ大会	13	木		13	土	持久走大会（河中）/金融トラブル勉強会
14	火	施設長会	14	金	インフルエンザ予防接種（幼児）	14	日	
15	水	市陸上記録会（小6）/職員健康診断①	15	土	児童検診（高校生）	15	月	
16	木	家庭相談員施設見学/職員健康診断②	16	日		16	火	
17	金		17	月	三者面談（河中）/防災委員会/経営幹部会議	17	水	河中運営協議会
18	土	誕生会	18	火	就学时健康診断（皆小）/学習発表会/会計検査	18	木	避難訓練
19	日	まち美化活動/やす子夕食会⑨	19	水	第三者評価①	19	金	BCP訓練/理事会
20	月	インフルエンザ予防接種～30日	20	木	第三者評価②/学習発表会（特支高）	20	土	担当別活動/誕生会
21	火		21	金	学習発表会（特支中）/インフルエンザ予防接種（小学生）	21	日	担当別活動
22	水		22	土	児養協レクリエーション大会	22	月	研修会（仁風学園）
23	木	授業参観（特支）	23	日	担当別活動/七五三参り	23	火	
24	金		24	月	誕生日外出	24	水	終業式 ウィンターパーティー
25	土	ふれあい祭り	25	火		25	木	
26	日		26	水	普通救命講習会	26	金	
27	月		27	木	持久走大会試走（皆小）/児養協事務管理部会	27	土	担当別活動
28	火		28	金	授業参観・PTA（河中）	28	日	餅つき大会
29	水		29	土	七五三撮影	29	月	
30	木		30	日	たらちね祭り	30	火	
31	金	文化祭（河中）				31	水	大晦日

月別行事実施報告

1 月		2 月		3 月	
1 木	初詣	1 日		1 日	2月誕生会
2 金	正月外出活動（男子）	2 月		2 月	全体職員会/卒業式（明桜館）
3 土	正月外出活動（女子）	3 火		3 火	授業参観（特支）
4 日		4 水	新一年生入学説明会/ワクチン接種	4 水	公立高校入試1日目/授業参観（特支）/コミュニティ協議会
5 月	正月外出活動（幼児）	5 木	教育相談（特支）	5 木	公立高校入試2日目
6 火		6 金	教育相談（特支）/施設長会・県職員施設長連絡会	6 金	
7 水		7 土		7 土	
8 木	始業式	8 日	退園生壮行会	8 日	
9 金		9 月	全体職員会/教育相談	9 月	
10 土		10 火	後期新任職員研修/縄跳び大会（皆小）/ワクチン接種	10 火	
11 日		11 水	誕生会	11 水	卒業式（河中）
12 月		12 木	施設心理職員合同研修～13日	12 木	公立高校合格発表
13 火	施設長会	13 金		13 金	卒業式（特支）/合格者集合（女子高、明桜館）
14 水	全体職員会議/入退所委員会	14 土	スクールゾーン委員会 施設長会	14 土	
15 木	避難訓練	15 日	DVD上映会	15 日	退園式・お別れ食事会
16 金	授業参観・学級PTA・家庭教育学級	16 月		16 月	理事会
17 土	立志の集い/激励会	17 火	防犯研修	17 火	卒園式（皆幼）
18 日	P T A資源回収（河中）	18 水	入学説明会（特支）	18 水	
19 月	経営幹部会	19 木	避難訓練（夜間）	19 木	
20 火		20 金	BCP会議	20 金	
21 水		21 土		21 土	
22 木	学園との連絡会（皆小）	22 日	担当別活動	22 日	誕生会
23 金	事務管理部会研修	23 月	担当別活動	23 月	
24 土	幼児棟外出活動	24 火	保育実習～3/6 中堅職員研修会（東京）	24 火	卒業式（皆小）
25 日	担当別活動/1月誕生会/児養協絵画展表彰式	25 水	河中運営協議会	25 水	各学校終了式・離任式
26 月		26 木		26 木	学園お別れ遠足
27 火		27 金	授業参観・学年末PTA	27 金	
28 水	私立高校入試	28 土	児童養護セミナー	28 土	P T A送別会
29 木				29 日	
30 金	入学説明会（河中）			30 月	
31 土				31 火	

職員研修報告

期 日	研 修 会 名	会 場	参加者名
5月20日	児養協 食育関係部会	県社会福祉センター	平島 昌子
5月28日 ～29日	社会的養護施設指導員合同研修(ライブ配信コース)	オンライン	今川 綾乃
6月6日	自立支援・アフターケア担当職員連絡会	県社会福祉センター	黒岩 誠
6月6日	児童福祉施設及び児童相談所心理職員連絡会	鹿児島中央児童相談所	渡邊 真美 亀山 明子
6月11日 ～13日	第72回九州児童福祉施設職員研究大会(大分大会)	大分市	前田仁志・今川 綾乃 高倉大樹・黒岩 誠
6月20日	鹿児島県4児童相談所職員と児童福祉施設処遇職員との連絡会	中央児童相談所	和田依織・小園大希 吉利優希・有村春愛 山田光里
6月23日	児養協 第1回心理部会	鹿児島市	渡邊 真美 亀山 明子
6月27日	児養協 前期新任職員研修会	県社会福祉センター	長谷場弥生 内田 加奈
7月14日	市児養協 第1回研修会	たらちね学園	前田施設長 他12名
9月17日	令和7年度 ハラスメント対応研修	オンライン	中城 夏美
9月29日	令和7年度 第1回鹿児島県自立支援実務担当者連絡会	オンライン	黒岩 誠
10月9日 ～10日	児養協 第2回食育関係部会	奄美市	内村 圭希
11月11日	児養協 第2回心理部会	鹿児島市	亀山 明子
11月11日 ～13日	第78回全国児童養護施設長研究大会(福島大会)	郡山市	前田 仁志

職員研修報告

期 日	研 修 会 名	会 場	参加者名
11月19日	児養協 第1回児童支援部研修会	鹿児島市	溝口 祐輔 今川 綾乃
11月27日	児養協 第1回事務管理部研修会	鹿児島市	田中みゆき
12月22日	LGBTQについて	仁風学園	前田 仁志 馬場 明子 高倉 大樹 今川 綾乃
1月23日	児童福祉施設及び児童相談所心理職員連絡会	鹿児島市	亀山 明子
1月23日	児養協 第2回事務管理部研修会	鹿児島市	新福奈美子
1月27日	市児養協 第2回研修会	鹿児島市	前田 仁志 他5名
2月10日	児養協 後期新任職員研修会	鹿児島市	内田 加奈 高倉 大樹
2月12日 ～13日	子どもの虹情報研修センター施設心理職員合同研修	オンライン	渡邊 真美
2月13日	児養協 第2回児童支援部研修会	鹿児島市	水流添優里 亀山 明子 濱藺 誠一
3月18日	令和7年度第3回鹿児島県自立支援実務担当者連絡会	オンライン	黒岩 誠

地域や支援者等との交流報告

本地域では、近年の過疎化および人口減少の進行に伴い、地域行事の縮小や、参加者の減少、市立皆与志幼稚園の令和8年度での閉園計画など、地域社会の在り方そのものが大きく変化しつつあります。皆与志小学校においても、当学園に在籍する児童が全体の約半数を占める状況となっています。

こうした中で、当施設が果たすべき役割はこれまで以上に重要になっていると感じています。単に児童養護施設としての機能を提供するだけでなく、地域に残る子どもたちとその家庭を支え、地域コミュニティの維持・活性化にも寄与して行かなければなりません。

今後も、地域の皆さまとの連携を深めながら、子どもたちが安心して成長できる環境づくりに努めるとともに、地域社会の持続に向けて当施設として何ができるのかを引き続き検討していきます。

令和7年度

小学校校区のボランティア団体(大警視パトロール隊)の活動補助として、皆与志小学校・幼稚園持久走大会の試走と本番で安全誘導を行った。 職員4名参加

交 流 内 容		
年6回 8月	コミュニティー協議会 地域清掃 パティシエ体験	職員 児童・職員 児童・職員
11月・12月	皆与志秋祭り 小学校行事支援 (持久走大会安全誘導)	児童・職員 児童・職員
2月	立志の集い	児童・職員 職員
3月	PTA送別会	児童・職員 職員

月別在籍状況

月	初日在籍人員	入所人員	退所人員	月末在籍人員	備 考
4月	36 名	2 名	0 名	36 名	初日入所 2
5月	36 名	0 名	0 名	36 名	
6月	36 名	0 名	0 名	36 名	
7月	36 名	0 名	0 名	36 名	
8月	36 名	0 名	2 名	34 名	家庭引取 2
9月	34 名	0 名	0 名	34 名	
10月	34 名	1 名	0 名	35 名	
11月	36 名	1 名	0 名	36 名	初日入所 1
12月	36 名	0 名	0 名	36 名	
1月	36 名	0 名	0 名	36 名	
2月	36 名	0 名	0 名	36 名	
3月	36 名	0 名	2 名	34 名	措置停止 1 家庭引取 1 就職・自立 1
計	428 名	4 名	4 名	425 名	
平均	35.7 名			35.4 名	

専門的な支援についての報告

○ 家庭支援専門相談員

《家庭再統合支援》

今年度18ケースを再統合計画ケースとして挙げ、関係機関と共同した取り組みを行いました。結果、家庭復帰を果たしたケース3ケース。全て、年度当初から家庭復帰に向けて取り組んだ世帯のケースであった。この内2ケースは、年度途中での家庭引き取りとなっています。

氏名	年齢	性別	理 由
H.K	12	男	保護者の生活状況改善による家庭引き取り
N.O	4	男	保護者の生活状況改善による家庭引き取り
R.K	12	女	保護者の生活状況改善による家庭引き取り

《地域支援》

施設からの措置変更や家庭復帰を果たした児童のいる施設や家庭に対し、アウトリーチの支援を行いました。

地域の保護者からの育児に関する相談を受けました。

訪問件数 : 2件

相談件数 : 2件

○ 心理士

施設内での心理支援

- ・児童の個々の状況に応じ、個別面接やプレイセラピーを行いました。
- ・心身の不調、問題行動、発達の問題等で医療機関を受診する際の児童の不安軽減のため、予告や振り返り等を行った。また、医療面の助言をもとにした関わりについて処遇職員と話し合いました。(前年度:15件、そのうち小児科10件・精神科5件)
- ・医療機関でのリハビリや検査の情報が生活に活かされるよう、リハビリ等の様子を観察し、処遇職員と方向性の検討を行いました。(前年度:7件)
- ・児童の特性理解と支援検討のため、関係機関での相談会等に参加しました。(前年度:小学校教育相談との連絡会、就学相談5件、教育相談3件、療育施設等の訪問・相談1件)
- ・児童相談所での通所指導や療育手帳取得時の聞き取りに同行し、児童の状況を伝えると共に児童相談所の見立てを基にした支援を検討しました。(前年度:11件)
- ・児童の移行に際し、児童相談所などの心理担当者から情報を引き継ぎ、移行先の心理担当者と連絡を取り合うなど、他機関の心理担当者との連携を行いました。(前年度:2件)
- ・保護者の児童への理解が進むよう、児童の発達段階や特性の説明、関わり方の工夫等を伝えました。また、家庭復帰においては、家庭支援専門員と協働し保護者支援を行いました。(前年度1件)

地域等での心理支援

- ・退園者の生活が安定するよう、本人やその家族と定期的に連絡を取り、困りごとへの助言や地域資源を紹介するなどのアフターケアを行いました。(前年度:5件)
- ・地域の中の要支援家庭に対し、養育への困難が軽減するよう、要支援児のアセスメントや家族へのカウンセリングを行いました。(前年度:里親家庭3件)
- ・要支援家庭が地域の行政機関や学校・療育などの関係施設と繋がり、適切な理解と支援が得られるよう働きかけました。(前年度:里親家庭1件)

○ 里親支援専門相談員

家庭訪問や電話による相談を通じて、里親や里子が抱える不安や課題を把握し、家庭支援専門相談員、心理療法担当職員と協同して支援を行いました。また、里親と児童相談所などの関係機関とを繋げる役割を果たし課題克服に向けて活動することが出来ました。

令和7年度活動実績

(有)家庭訪問 (委託)	(無)家庭訪問 (委託)	(件)里親相談 (対応)	(回)里親研修 (会)	(回)サロン	(施設実習 (人)	(養育体験 (人)	(回)里親との 調整	(回)マッチ ング
18	10	162	13	1	0	0	0	0
(回)定期 会議連絡	(回)地区 連絡会	(回)児相 連絡調整	(回)児相 連絡調整 以外	制度 活動 広報				
9	6	49	92	20				

入所率推移

(%)

	28年	29年	30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
たらちね学園	95.8	86.7	67.5	79.5	91.4	92.7	90.0	92.7	92.1	89.0
県内平均	80.5	78.5	76.9	75.1	72	76.4	73.6	77.5	79.6	72.9

- ・令和7年度は 児童養護施設本体:14施設 定員578名
地域小規模児童養護施設:16施設 定員 94名
合計定員672名
- ・年間月末在籍の平均÷定員
定員(暫定は除く)で算出
- ・令和7年度の暫定定員の本体施設は4施設

入所数推移

	27年	28年	29年	30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
たらちね学園	6	7	10	17	17	4	7	11	4	11
県内合計	146	112	122	132	118	140	112	78	100	92

県内合計は本体と地域小規模児童養護施設の合計

県内の定員	836	814	813	797	787	775	757	757	675	676
-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

県内の定員は本体と地域小規模児童養護施設の合計

出身地別状況(保護者住所地)

令和8年3月31日

鹿児島県内児童相談所			県外児童相談所		
出身地		人数	出身地		人数
鹿児島市		30 名			名
南さつま市		1 名			
霧島市		1 名			
伊佐市		1 名			
		名			
		名			
		名			
		名			
		名			
		名			
		名			
		名			
計		33 名			0 名

主訴別入所状況(入所時の措置理由)

令和 8年 3月31日

主 訴 名	人 数	主 訴 名	人数
虐待(身体的)	8名	養護	10名
虐待(ネグレクト)	6名	養護(拘禁)	名
虐待(性的)	2名	養護(経済的)	2名
虐待(心理的)	3名	養育困難(入院)	2名
不 登 校	名	養護(死亡)	名
性格行動	名	非 行	名
(男 16名 女 17名) 計33名			

栄養管理計画実施報告

1、重点目標

①安全で美味しい食事の提供

衛生管理はもちろん、食材の下処理、野菜の切り方や調理方法等、入所児童の食べやすさを考慮した調理の実施、食事の提供に努めました。

②入所児童の発達段階に応じた栄養管理の実施

年齢や性別、口腔機能等、入所児童個々に合わせた食事提供を実施しました。
(食事量や食事形態)

③調理職員の技術向上への取り組み

行事食の実施や食育部会などの研修へ参加し、学んだ調理技術や衛生管理などの知識を取り入れるよう努めました。

④衛生管理マニュアルに準じた管理の徹底

大量調理マニュアルに準じた衛生管理を継続して実施できました。

⑤入所児童の食を守るために職員の感染対策意識を高める

感染症の流行時期に、給食委員会での啓発や資料の配布を行いました。

2、給食の実施状況

①食事の種類

普通食、半量、2／3量等入所児童の年齢や喫食状況等に応じた食事の提供に努めました。

②給食栄養所要量

平均エネルギー2370kcal(6～18歳の平均値を栄養所要量として設定)

※2～5歳(未就学児)については個別で対応

3、栄養指導について

処遇職員と連携し、入所児童個々に合った食事の提供が実施できました。
(食事量、食事形態等)

4、給食委員会について(毎月1回実施)

食事に関する事や感染症等流行時期の注意喚起、各部署との意見交換を行いました。

5、嗜好調査について(3月実施)

入所児童を対象に実施

(幼児や自分で回答を記入する事が難しい児童は職員が聞き取りをして記入)

職員を対象に食事についてのアンケート調査を実施

6、調理職員の細菌検査状況

4月～7月 6名(栄養士1名、調理員5名(うち1名パート))

8月～11月 6名(栄養士1名、調理員5名(うち1名パート))

12月～3月 6名(栄養士1名、調理員5名(うち1名パート))

※2025年10月～2026年3月までノロウイルス検査も実施

7、災害時や食中毒予防に関する対策

①災害時について

非常食の購入や、備蓄している食品の管理、加熱を必要としない非常食の検討、購入など、災害時に備えることができました。

災害時を想定した炊き出し訓練の実施を行なえなかったが、今後実施できるよう各部署と連携しながら計画を立てるようにします。

②食中毒予防について

給食委員会での注意喚起や、食堂にポスター等掲示し食事前の手洗いを促すように努めました。

8、衛生管理の徹底

大量調理マニュアルに準じた衛生管理の実施ができました。

9、調理職員の技術向上に対する取り組み

行事食や研修会を通して、調理職員の技術向上する取り組みができました。
(新しいメニューの開拓や、調理方法等)

10、行事食、その他の取り組み

実施月	行事食	献立内容等
4月	入学お祝いディナー	ナポリタン、サンドイッチ、シーザーサラダ、手作りデザート
5月	端午の節句	ふわとろオムライス、こどもの日デザート、かしわもち
	運動会弁当	手作り弁当
6月	スタミナメニュー	カレー、スタミナ焼き等
	梅干し作り	手作り梅干し
7月	七夕	お星様コロッケハヤシライス、三色和え、七夕デザート
	納豆の日	納豆
	土用丑の日	七夕そばろ井、星形ハンバーグカレー、七夕デザート
	そうめん流し	そうめん・おにぎり
8月	さっぱりメニュー	冷やしうどん、ハニーレモンチキンライス、ゴーヤチャンプル
9月	十五夜	お月見キーマカレー、コロコロサラダ、フルーツ白玉十五夜だんご(お供え用)
10月	一日遠足	手作り弁当(卵焼き、唐揚げ、ナポリタン等)
	ふれあい祭り	芋煮を出店
	ハロウィンおやつ	ハロウィンカップケーキ
	ハロウィン	オムライス、パンプキンサラダ、デザート
12月	ウインターパーティー	クリスマスプレート料理
	おおみそか	キムチ鍋、すき焼き、年越しそば
1月	元旦	雑煮、おせちお重弁当、ビーフシチュー
	七草	七草粥、べったら漬
	鏡開き	ぜんざい
	受験生激励会	すき焼き
2月	節分	太巻き寿司 レタス巻き、納豆巻き、つみれ汁 とりのケチャップあんがらめ、甘納豆
3月	ひな祭り	雛いなり寿司(男雛・女雛作り)、すまし汁、唐揚げ、ひな祭りデザート

職員の職種別定数及び現員数

令和8年3月31日現在

職 種 別	定 数	R6年度 末人員	R7年度 採用・退職・施設間異動				R7年度 末人員	備 考
			入職		退職			
	人	人	異動	採用	異動	退職	人	
施 設 長	1	1					1	
児童指導員	13	4		3		1	15	小規模施設加算 1人
保 育 士		10			1			
里親支援専門相談員	1	1					1	
職業指導員	1	1					1	
家庭支援専門相談員	2	2					2	
特別指導員	1	1					1	
個別対応職員	1	1					1	
心理療法担当職員	2	2		1	1		2	
栄 養 士		1					1	パート
事 務 員	1	2					2	
調 理 員	4	5					5	
嘱 託 医	1	1					1	非常勤
児童指導員補助	—	1					1	
計	28	33	0	4	1	2	34	

寄付金品受入状況

No.1

寄 贈 者	寄贈物品	所 在 地	備考
(株)ユーコー鹿児島 新屋敷店	菓子	鹿児島市	5回
(株)オリジナルカラー	菓子	大阪府	3回
徳田・馬場クリニック	クリスマスケーキ、菓子	鹿児島市	2回
九州労働金庫	図書	鹿児島市	2回
佐藤食品工業(有)	納豆	日置市	
城山ホテル鹿児島	ピザ、パン	鹿児島市	
日本鏡餅組合	鏡餅	新潟県	
全国シャンメリー協同組合	シャンメリー	東京都	
鹿児島県食肉事業協同組合	豚肉	鹿児島市	
鹿児島まぐろ同友会	まぐろ	いちき串木野市	
一般社団日本レコード協会	音楽CD	東京都	
(株)フレーベル館 メディア事業部 CSチーム	図書	東京都	
第一生命保労働組合	図書カード	鹿児島市	
鹿児島県共同募金会	現金	鹿児島市	
ほっともっと	DVD	福岡県	
六葉煙火	花火	南九州市	
としのぶさん家の粉	たこ焼き粉	大阪府	
藤絹商事(株)	観葉植物ほか	鹿児島市	
国際ソロプチミスト鹿児島	現金	鹿児島市	
(株)チェンジホールディングス	映画チケット	始良市	
ドリームプロジェクトみらい	玩具	鹿児島市	
鹿信伊敷ハッピー会	現金	鹿児島市	
鹿信伊敷親睦ゴルフ会	現金	鹿児島県	
(株)TENKA	菓子	鹿児島県	
鹿児島県遊技業協同組合	米	鹿児島市	
石原左官・みこと工房	卓上プラネタリウム	奄美市	
個人	果物・菓子	鹿児島市	3回
個人	現金	鹿児島市	3回
個人	現金	鹿児島市	2回
個人	現金	鹿児島市	

[illegible]

2025 年度

事業報告書

やまびこ医療福祉センター

《 目 次 》

施設の概要	・・・・・・・・・・	1
2025年度事業活動の状況	・・・・・・・・・・	4
2025年度事業報告	・・・・・・・・・・	5
医療監視・指導監査・運営指導等の状況	・・・・・・	10
職員採用・退職・異動状況	・・・・・・・・・・	12

<各部門の事業報告>

医療部	・・・・・・・・・・	13
看護部	・・・・・・・・・・	18
リハビリテーション部	・・・・・・・・・・	31
福祉部	・・・・・・・・・・	34
総務部	・・・・・・・・・・	36

施設の概要

施 設 の 名 称	やまびこ医療福祉センター	
施 設 の 種 類	医療機関、障害福祉サービス事業所、 障害児通所支援事業所、障害児入所支援施設	
院 長	小 八 重 秀 彦	
所 在 地	〒891-1206 鹿児島市皆与志町 1779 番地 TEL 099-238-2755 FAX 099-238-5134	
沿 革	やまびこ整肢学園 肢体不自由児施設	やまばと学園 重症心身障害児施設
	昭和 39 年 2 月 1 日(定員 100 名) 昭和 44 年 4 月 1 日(定員 170 名) 昭和 61 年 4 月 1 日(定員 100 名) 平成 3 年 4 月 1 日(定員 45 名) 平成 10 年 3 月 31 日 施設の廃止 ※重症心身障害児施設へ統廃合	昭和 61 年 4 月 1 日(定員 70 名) 平成 3 年 4 月 1 日(定員 125 名)
	平成 10 年 4 月 1 日 重症心身障害児施設(定員 170 名) 名称をやまびこ医療福祉センターに改める 平成 15 年 7 月 1 日 定員 170 名を 190 名に増員 平成 24 年 4 月 1 日 つなぎ法施行に伴う新事業体系へ移行(190 名) ・保険医療機関 ・障害者自立支援法(18 歳以上)に伴う障害福祉サービス 4 事業 (療養介護、短期入所、生活介護、特定相談支援) ・児童福祉法(18 歳未満)に伴う障害児支援 2 事業 (医療型障害児入所施設、障害児相談支援) ・児童発達支援事業「発達サポート児童デイやまびこ」開始 平成 25 年 4 月 1 日 障害者総合支援法へ移行 平成 27 年 4 月 1 日 ・放課後等デイサービス 開始 「発達サポート児童デイやまびこ」多機能型へ移行 ・歯科診療所開設 平成 31 年 4 月 1 日 ・生活介護事業(多機能型) 「デイサポートるーちす」開始 ・児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業(多機能型) 「発達サポートるっか」開始	

	令和 3 年 3 月 31 日 ・ 児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業(多機能型) 「発達サポート児童デイやまびこ」 廃止 令和 5 年 1 月 1 日 ・ 保険医療機関 病床数 190 床から 199 床へ増床 令和 6 年 9 月 30 日 ・ 生活介護事業(多機能型) 「デイサポートるーちす」 廃止
医療機関名称等	医療機関名 やまびこ医療福祉センター 医療機関番号 01, 1480, 5(昭和 54 年 1 月 4 日承認) 歯科併設医療機関番号 01, 3855, 2(平成 27 年 1 月 4 日承認) 病 床 数 199 床 一般病床(161 床)【 令和 5 年 1 月 1 日認可】 療養病床(38 床)【 平成 30 年 4 月 1 日認可】 診 療 科 目 小児科、内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、歯科 施 設 基 準 障害者施設等入院基本料(7 対 1) : 161 床 療養病棟入院基本料 療養病棟入院料 1 : 38 床 療養病棟療養環境加算 1 特殊疾患入院施設管理加算 療養環境加算 小児運動器疾患指導管理料 脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ) 運動器リハビリテーション料(Ⅰ) C T 撮影 医療機器安全管理料 1 (歯科点数表の初診料の注 1 に規定する施設基準) 歯科外来診療環境体制加算 1 歯科治療時医療管理料 クラウン・ブリッジ維持管理料 C A D / C A M 冠 口腔細菌定量検査 酸素加算 外来リハビリテーション診療料 強度行動障害入院医療管理加算 歯科訪問診療料 注 15 に規定する基準 小児口腔機能管理料 注 3 に規定する口腔管理体制強化加算

各事業	・医療型障害児入所施設「やまびこ医療福祉センター」 190 名 平成 24 年 5 月 1 日指定 事業所番号 4650100078 ・療養介護事業「やまびこ医療福祉センター」 190 名 平成 24 年 4 月 1 日指定 事業所番号 4610102826 ・生活介護事業「デイサポート通所やまびこ」 20 名 平成 24 年 4 月 1 日指定 事業所番号 4610102826 ・短期入所事業「やまびこ医療福祉センター」 10 名 平成 24 年 4 月 1 日指定 事業所番号 4610102826 ・特定相談支援事業「相談支援ステーションやまびこ」 平成 24 年 6 月 1 日指定 事業所番号 4630102863 ・障害児相談支援事業「相談支援ステーションやまびこ」 平成 24 年 6 月 1 日指定 事業所番号 4670001116 ・児童発達支援、放課後等デイサービス事業(多機能型) 「発達サポートるっか」 7 名 平成 31 年 4 月 1 日指定 事業所番号 4650005772 ・鹿児島県障害児等療育支援事業(3 事業) ・鹿児島県療育拠点施設事業(2 事業) ・鹿児島市地域療育等支援事業、日中一時支援事業 ・スタッフ派遣事業 ・鹿児島県小児慢性特定疾患治療研究事業
指定医療	・生活保護指定医療機関 (指定番号：医療機関番号及び歯科併設医療機関番号に同じ) ・労災指定医療機関 事業所番号 4610768 ・難病の患者に対する医療等に関する法律第 14 条第 1 項の規定による 指定医療機関 事業所番号 4610114805 ・胃集団検診精密検査医療機関 ・腹部超音波集団検診精密検査医療機関 ・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第 59 条第 1 項の規定による指定自立支援医療機関 (育成医療、厚生医療、精神通院)

2025年度事業活動の状況

	行事等関係	理事会関係	監査関係
4月	・ 入社式・辞令交付式 ・ 職員定期健康診断 ・ 消防設備点検		・ 会計監査人監査
5月	・ 総合防災訓練 ・ 日本重症心身障害福祉協会 全国施設協議会	・ 苦情解決 第三者委員会 ・ 第1回理事会	・ 監事監査 ・ 会計監査人監査
6月	第14回九州沖縄地区重症児施設経営研究会 医療事務担当者研修会	・ 第2回理事会 ・ 第1回評議員会	
7月	・ 九州沖縄地区重症心身障害施設経営研究会		・ 施設基準等に係る適時調査(九州厚生局)
8月	・ 防犯設備点検		
9月	・ 法人周辺道路清掃作業 ・ 全国重症心身障害児者施設職員研修会 「看護師コース」	・ 第3回理事会	・ 県指導監査(医療型障害児入所施設)
10月	・ 特定業務従事者健康診断 ・ 消防設備点検 ・ ふれあい祭り ・ 全国重症心身障害児者施設職員研修会 「栄養士・調理師コース」 ・ 全国重症心身障害児者施設職員研修会 「看護管理研究会コース」 ・ 鹿児島県社会福祉協議会功労者表彰		・ 認可外保育施設の立入調査
11月	・ 総合防災訓練 ・ 防犯設備点検 ・ 日本重症心身障害福祉協会 西日本施設協議会 ・ 鹿児島市社会福祉功労者表彰		・ 医療法第25条第1項の規定に基づく 立入調査 ・ 会計監査人監査
12月	・ 建築基準法に基づく定期検査 ・ 全国重症心身障害児者施設職員研修会 「医療技術管理コース」 ・ 全国重症心身障害児者施設職員研修会 「保育士・児童指導員等(療育職員)コース」 ・ クリスマスイルミネーション点灯式 ・ 仕事納め式・向陽会忘年会	・ 第4回理事会	・ 内部経理監査
1月	・ 仕事初め式 ・ 全国重症心身障害児者施設職員研修会 「施設管理研究会コース」		
2月	・ 法人境界線確認作業 ・ 防犯設備点検 ・ 防犯講習会	・ 第5回 理事会	
3月	・ BCP訓練	・ 第6回理事会	

2025 年度 事業報告

世界的な新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが一旦落ち着いた後、徐々に日本経済および労働市場は、過去数十年にわたるデフレ経済のパラダイムから完全に脱却し、「インフレの定着」と「金利のある世界」への回帰という、極めて重大かつ不可逆的な構造転換期となってきました。そんな中、日本経済の最大のボトルネックとなっているのが「労働供給の絶対的な不足」です。さらに 2024 年 4 月より国の政策により働き方改革が進む中、医療福祉においても医療従事者の確保が困難な状況になってきました。当センターにおいても医師をはじめ他の医療従事者の減少のため、以前のような障害児者への支援を行うには限られた人材の中でのタスクシフトや DX を用いた効率性が求められるようになってきました。2025 年度は、この転換期に耐え、今後障害児者への支援が持続可能にするための体制づくり元年と捉え取り組んできました。

2025 年度の医療事業では、一般病棟 148.5 床/日（2024 年度 149.9 床/日）、療養病棟 36.6 床/日（2024 年度 36.9 床/日）、外来 72.3 人/日（2024 年度 73.1 床/日）、歯科 17.1 人/日（2024 年度 15.4 床/日）であり、入所、外来において前年よりやや減少しました。これは医師やリハスタッフの減少による影響と考えられます。福祉事業ではセンター内に感染対策を行いながら、229 件 637 日の短期入所の受け入れを行いました（2024 年度 148 件 454 日）。2024 年度より約 1.5 倍の受け入れを行い、在宅ケアの支援を強化してきました。また、通所支援に関しても前年度と同程度の運営ができました。リハ部門では前年度（131,283 単位）と比べ、延べ（113,857）単位（入院：77,571 単位、外来：36,286 単位）と減少しました。この要因はリハスタッフの退職による減少と外来キャンセルが考えられます。外来キャンセルに関してはキャンセル時入所者へのリハビリに振り替えられるよう病棟との連携を見直し、予算達成を追求しました。

また昨今、日本社会において人権にかかわる問題が取りざたされています。当センターにおいては、虐待防止、身体拘束適正化、個人情報保護に関するそれぞれの委員会を立ち上げ、個別具体的な対策に取り組んできました。今後も時代に応じて見直し、人権擁護に取り組んでいきたいと思います。

最後に、最近の物価高や人件費の高騰等により、多くの医療機関で赤字決算の報告がなされています。当センターにおいても事業を継続するためには経済的視点は必要不可欠であると考えます。同時に障害児者への医療福祉支援という当センターの役割を忘れず、中長期的な視野に立った運営・体制づくりに今後も尽力を尽くしていきたいと思います。

1. 事業報告決算概要

今年度の事業決算に関する報告および収支の状況について以下の通り。

①病床種別（医療病床 199 床：一般病床 161 床、療養病床 38 床）5 病棟

□一般病床：さくら 47 床・すみれ 38 床・なのはな 38 床・たんぽぽ 38 床

⇒一日平均利用実績：148.5 床

□療養病床：ゆり 38 床

⇒一日平均利用実績：36.6 床

②障害者総合支援法に伴う指定障害者福祉サービス事業関係

□療養介護事業（定員 190 名） 対象：18 歳以上

⇒一日平均利用実績：173.9 名

□医療型障害児入所施設（定員 190 名） 対象：18 歳未満

⇒一日平均利用実績：5.1 名・措置児童：6.0 名 計 11.6 名

□生活介護事業（定員 20 名） ※デイサポート通所やまびこ

⇒一日平均利用実績：17.1 名（開所日数 290 日）

□短期入所事業（定員 10 名）併設型

⇒一日平均利用実績：1.7 名）

□特定相談支援事業（対象：障害者）

⇒年度延べ利用実績（月平均）：607 名（50.6 名）

□障害児相談支援事業（対象：障害児）

⇒年度延べ利用実績（月平均）：27 名（2.3 名）

□児童発達支援事業（定員 5 名）：多機能事業所

※発達サポートるっか

⇒一日平均利用実績：1.0 名（開所日数 290 日）

□放課後等デイサービス事業（定員 5 名）：多機能事業所

※発達サポートるっか

⇒一日平均利用実績：3.2 名（開所日数 290 日）

③療育関係委託契約事業

□鹿児島県障害児療育等支援事業・療育拠点施設事業

⇒360 件

□鹿児島市地域療育等支援事業・日中一時支援事業

⇒地域療育等支援事業：10 件、日中一時支援：0 件

□スタッフ派遣事業（各市町村・県内各施設） ※障害児発達外来

⇒延 273 件（PT：52 件、OT：105 件、ST：92 件、CP：44 件）

④センター内歯科診療所事業

□対象：病棟施設利用者、療護園入居者、外来、在宅患者ほか

⇒年間延べ利用者数 4,565 名

- 障害児口腔衛生ケアに伴う委託事業、スタッフ派遣事業など
⇒在宅支援訪問療育指導 5 施設:9 回・各種専修学校 3 施設 10 回

⑤購入計画（事業に係る主な固定資産物品購入関係等）

□自動血球計数 CRP 測定装置

⇒購入から 12 年を経過。メーカーによる修理対応年数(5 年)を超えて使用。
内部の測定装置劣化によりデータの精度に誤差が生じているため、後継機へ買替。

□排痰補助装置

⇒医療的ケア児等は喀痰喀出が困難な方が多いことから喀痰除去装置で痰の排出を補助することで呼吸状態を安定させる効果が期待できるため、新規購入。

□全自動散薬錠剤分包機

⇒購入より 8 年経過。毎日使用しているため消耗が大きく故障の可能性を指摘されている。機能性が低いことから調剤に時間を要している。導入時と比較して現在の調剤数は 2 倍以上に増加しているため時間短縮、効率化を解消するため既存機より高性能な機器への買替。

□拡大鏡（ルーペ）

⇒歯科用の拡大鏡は口腔内を明るく照射し、鮮明な拡大視野が得られることにより診断・治療の精度向上が図れることから新規購入。

⑥事業活動計算書より

【収 益】

□国からの支援事業費補助金について

⇒医療機関における賃上げ・物価上昇対策補助金は、職員の処遇改善や、物価高騰で増加した医療材料費等の負担を補填し、地域で安定した医療提供を継続できるよう支援を受けた。

□雑収入について

⇒九州沖縄地区重心施設経営研究会をセンターが担当施設として運営。
会計上、協議会に係る参加費、交流会費等を雑収入で処理した。

【費 用】

□職員俸給の減少

⇒年間を通して退職者数が入職者数を上回り、稼働人数として前年比平均－6.3 人となったことが要因。

□センターパソコン等の更新及び追加購入について

⇒現在稼働中のパソコンに搭載されている OS 及び Microsoft Office がサポート期限を迎えるため、ソフトウェアの更新が必要となった。また、パソコンを利用した業務が増加しており、端末不足が生じている状況であったため、業務継続と効率化を図る目的で、追加のパソコンを購入した。

⑥中（長）期計画において

□会計監査人対応における適切な会計処理と決算の透明性を確保（継続）

⇒監査法人による予備調査を受けるとともに、会計コンサルタントの助言を踏まえた会計相談を随時実施した。外部専門家の基準解釈を基軸に、経理処理の一貫性維持に努めた。

□事業継続計画（BCP）について

⇒事業継続計画（BCP）の運用に向け、実地訓練としてエアストレッチャーの使用方法を習得する訓練を行い、机上訓練としては SMS を活用した情報伝達訓練や勤務編成の作成訓練を実施した。

現在、計画内容の見直しと必要な修正を進め、実際に活用できる体制づくりを進行中である。

⑦福利厚生制度の充実と向上

□長時間労働削減による「働き方改革」へ向けた取組み（継続）

⇒各所属では職員一人ひとりの業務負担を踏まえ、変則勤務や時差勤務など柔軟な勤務形態を導入。これにより、適正な労働時間の確保に努めている。

□就業規則、給与規程等の改正

⇒人事労務関係で実情に沿ったものに見直しを行った。

□育児介護休業法制度改正に伴う制度への施設対応

⇒現行規程に反映させ、制度の利用を促すための周知啓発を行った。

2. 法改正等に基づく施設運営への対応

①改正社会福祉法に準拠した事業運営への対応

□拠点経営組織の内部管理体制の確立とガバナンス強化

⇒各部署との情報共有を随時行いながら、組織全体で共通の方向性と理解を持てるよう取り組みを進めた。また、日常業務の中で発生する課題や改善点についても積極的に意見交換を行い、透明性の高い運営と責任体制の明

確化を意識した組織づくりを推進した。

□法人監査に耐えうる財務基盤および財務規律の確立

⇒会計コンサルの助言を軸に常に根拠に準拠し、財務管理の統一を徹底した。

②施設基準および医療提供体制の検討

⇒施設状況を見直し、施設の基準に見合う診療報酬の基準を各担当と協議し、安定した診療報酬を得られる体制基準を確保できた。

③児童福祉法における第21条の5の16条第1項の規定により指定事業の支援提供体制に関する検討

⇒令和7年度より指定事業者等の更新時期のため、現行の体制に整合するよう内容の見直しを行い、申請することが出来た。

医療監視・指導監査・運営指導等の状況

1. 根 拠

*医療監視＝医療法第25条第1項の規定に基づき病院としての保健所による立入検査

*指導監査＝児童福祉法第46条第1項の規定に基づき行政庁による指導監査

2. 実施状況

実施年月日	対象・実施者	監査・監視の結果概要
医 療 監 視 2025 年 11 月 6 日	≪対象≫ やまびこ医療福祉センター ≪実施者≫ 鹿児島市保健所生活衛生課 医務薬務係	≪文書指摘≫ 特になし ≪口頭指摘≫ 特になし
指 導 監 査 2025 年 9 月 3 日	≪対象≫ 障害児入所施設 やまびこ医療福祉センター （医療型障害児入所施設） ≪実施者≫ 鹿児島地域振興局地域保健 福祉課	≪文書指摘≫ 特になし ≪口頭指摘≫ 特になし
適 時 調 査 2025 年 7 月 8 日	≪対象≫ やまびこ医療福祉センター ≪実施者≫ 九州厚生局鹿児島事務所	≪指摘≫ I.基本診療料の施設基準に係る事項 入院基本料に係る共通事項 褥瘡対策の基準 褥瘡対策に係る専任の医師及び専任の看護職員が適切な褥瘡対策の評価を行っていないため改めること。 ≪改善結果≫ 褥瘡対策に係る、専任の医師及び看護職員を選任し、今後は1回/月、適切な褥瘡対策の評価を行います。

立 入 調 査 2025 年 10 月 21 日	《対象》 キッズルームやまびこ (認可外保育施設) 《実施者》 鹿児島市こども未来局 保育幼稚園課	Ⅱ. 一般的事項 1 届出事項 保険医の異動については、変更の都度速やかに異動届を提出すること。 《改善結果》 変更した保険医の異動届を提出しました。 2 保険外負担 療養の給付と直接関係ないサービス等に係る費用徴収の同意の確認は、徴収に係るサービス内容及び料金等を明示した文書に患者等の署名を受けることにより行うこと。 《改善結果》 療養の給付と直接関係ないサービス等に係る費用徴収の同意の確認は、徴収に係るサービス内容及び料金等を明示した文書に患者等の署名を受けるようにしました。 《文書指摘》 特になし 《口頭指摘》 特になし
--	---	---

職員採用・退職・異動状況

2025年度

採用・退職 職 種	採 用	退 職	退 職 理 由				異 動		付 記
			定年退職	期間満了	自己都合	そ の 他	転 入	転出	
医 師		1			1				
理 学 療 法 士	1	3			3				
作 業 療 法 士		1			1				
言 語 聴 覚 士	2	1			1				
公 認 心 理 士							1		
看 護 師	10	9	1	2	6			1	
准 看 護 師									
介 護 福 祉 士	4	5	1		4		1		
介 護 員		3		2	1				
指 導 員 (ワーカー含む)		1			1				
保 育 士		2		1	1				
歯 科 衛 生 士	1								
薬 剤 師	1								
事 務 員		5		1	4				
調 理 師 (調理員含む)		2			2		1		
そ の 他	5	3		2	1				
合 計	24	36	2	8	26	0	3	1	
※ 雇用形態の変更は、採用退職の人員に含まない。定年後継続雇用についても同様。									

< 各部門の事業報告 >

医 療 部

—医 師—

1. 事業・活動計画の重点目標について

- ・令和 7 年度、医師の入れ替わりはあったが医師数を維持して活動できた。来年度常勤医師の採用が決まっており、お互い連携をとりながら、利用者の健康のため努力していく。

2. 利用者の安全な医療・福祉の提供について

- ・電子カルテの利用により、医師間の情報共有や他職種との連携がさらにスムーズに行えるようになった。

3. 利用者の家族への対応について

- ・感染症の終息により、福祉部と連携して、ご家族と利用者の直接面会、病状の説明等充実させることができた。

4. 職員の資質向上に対する対策

- ・全国で開催される学術集会や研究会へ各医師、オンライン、または直接参加して、利用者に常に新しく安全な医療が提供できるよう努力した。
学術図書および検索ツール等を通じて各医師が幅広い医学的知識を常に身につけるよう努力し、日々の医療レベルの向上を目指した。

5. 業務の改善、合理化・省力化に対する取り組み

- ・電子カルテに習熟し、その機能を最大限に活用することにより、業務の効率化、正確性が増してきており、他部署との連携も充実してきている。

6. 施設設備における利用者、職員に対するアメニティーの改善及び提案

- ・効率よく仕事をするための OA 機器や仕事環境の整備を行った。

— 歯 科 —

1. 事業・活動の重点目標

- ・口腔ケアによる口腔および全身の健康の維持・増進

入所者、みなよし療護園、外来患者の口腔機能管理を実施した。

受診総数は前年度比微増であった。

【受診者数の推移】

年度	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年
入所者	3,071	2,984	2,765	2,903	2,405	2,665
みなよし療護園	427	427	358	450	457	419
一般外来	518	512	629	1,192	1,480	1,481
合 計(名)	4,016	3,923	3,752	4,545	4,342	4,565

- ・地域支援

(1) 障害児療育等支援事業・療育等支援施設事業

療育施設や障害者施設の職員、養護学校教員ならびに施設利用者家族に対して、専門性を活かした口腔機能、摂食、口腔ケアに関する指導・助言を行った。

○在宅支援訪問療育指導 : 5 施設、計 9 回

○障害者施設支援 : 3 施設、計 10 回

(2) 看護、介護、保育実習生等の受け入れ、指導

実習生へ口腔衛生講話を行った。5 施設、計 6 回

2. 利用者の療育強化に関する対策

病棟での口腔衛生管理を強化するための口腔ケア指導、病棟職員との意見交換を実施した。

新入職員に対しての口腔ケアに関する研修会を実施した。

3. 利用者の安全な医療・福祉を提供する対策

部署内で発生したインシデントの事例検討を行い、情報共有および意識改革に努めた。

4. 施設の資質向上に対する対策

専門分野に関する学会や研修会に積極的に参加した。6 名、延べ 16 名

5. 業務の改善、合理化・省力化に対する取り組み

業務が円滑に進むようミーティングを随時実施し、役割分担は随時見直しを行った。

—薬 剤 係—

1. 事業・活動計画報告

- ・2025年度は、COVID-19感染は前年度よりは少なかったが、10月以降は昨年度以上にインフルエンザが猛威をふるい、当センターの入所者が発症し、それぞれの治療薬を内服、または、点滴で処方されたが、入所者が重症化することなく収束した。また、2025年度もここ数年続いている医薬品メーカーによる出荷停止、出荷調整続き、医師の協力のもと、日数調整や、メーカー変更など、様々な方法で乗り切った。
- ・2025年度のインシデントは2件あったが、重大な事故に関わる事例ではなく、入所者、利用者へより安全な医療の提供ができた。また、年度途中より導入した、全自動錠剤散薬分包機の稼働により、調剤業務の効率が上がった。

—診療放射線係—

1. 事業・活動計画の報告

2025年度の重点目標として医療機器に係る安全管理の為に体制確保及び入所者、患者、介助者の医療被曝軽減を挙げた。医療機器に関しては装置の更新があり大きなトラブル発生等は無かった。

また、被ばく軽減については「医療放射線安全管理」での研修会に於いて職員への理解を深められる様に努め、介助者等への被ばく軽減における声掛けを行った。

特に被ばくに関しては介助者自らが関心を持ち、線源から距離を取るなど被ばく防止の対応策を講じている様子がみられた。

CT検査においては、被験者の体格等によるプロトコルの変更を行い被ばく線量低減に努めた。

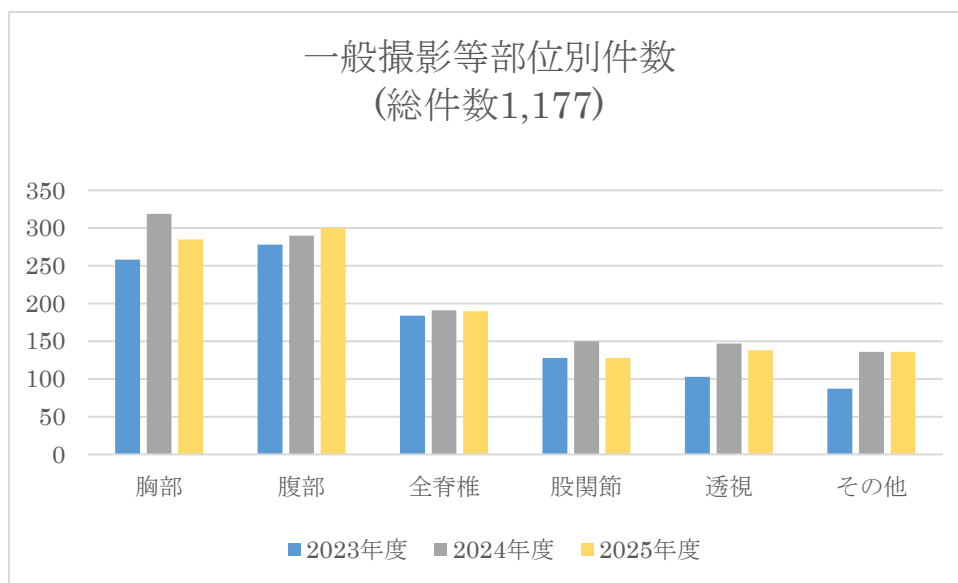
2. 撮影実績

総撮影件数は1,818件で前年度(1,846件)ほぼ同等となった。

① 一般撮影は1,177件(前年度1,233件)で、部位別件数については図-1に示す。

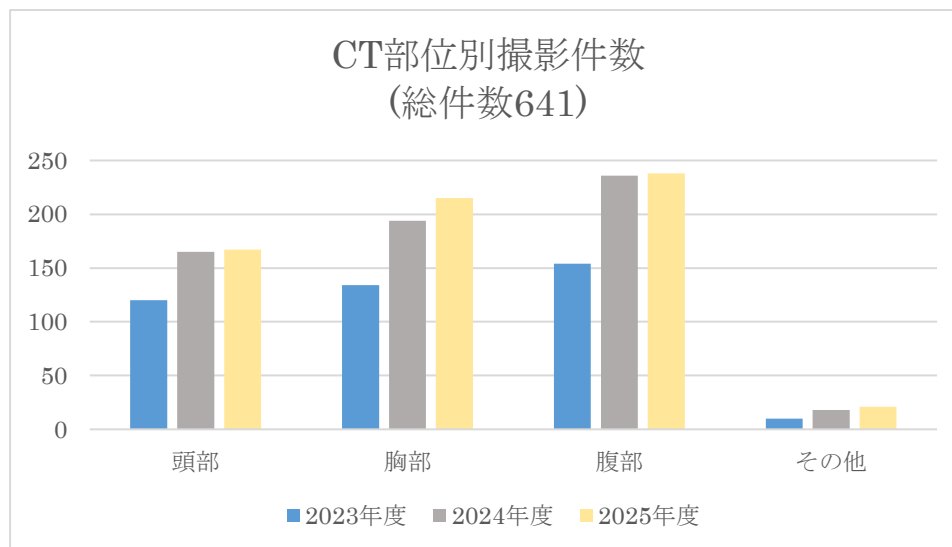
(※その他：四肢・頭部等)

図-1



- ② CT撮影に於いては641件で前年度(613件)より僅かに増加がみられた。
部位別件数については図-2に示す。
(※その他：頭部・胸部・腹部以外の部位)

図-2



3. 結語

撮影件数は前年度とほぼ同件数となったが今後も同様な件数程度で推移していくものと思われる。

また放射線科医読影が行われる事で医師の検査依頼への流れが構築されてきた。

看 護 部

活動概要

- ・療養病棟 1 病棟 38 床、障害者施設等一般病棟（7：1）4 病棟 161 床
- ・利用者の変動は新規入所 2 名、死亡退所 4 名、病棟異動 1 名
利用者数 182～189 名で、年度末は 185 名であった。
常に 1～3 名が外部医療機関に入院していた。
- ・勤務体制の検討・業務改善をし、入院時食事療養Ⅰを取得した。
- ・終末期の医療・ケアに対して家族と密に連絡し、多職種連携を図りながら、看取りケアに取り組んだ。
- ・病棟利用者の医療重度化は年々増し、超重症児者 39 名、準超重症児者 30 名
- ・利用者の骨折 13 件。例年になく多発した。
- ・夜勤は療養病棟 3 名、障害者施設等一般病棟 4 名の体制を維持した。
- ・新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ A・B 型が流行し、感染対策に徹した。

新型コロナウイルス感染症

7 月なのはな病棟・すみれ病棟、9 月なのはな病棟、12 月ゆり病棟

インフルエンザ A 型：12 月さくら病棟・たんぽぽ病棟

インフルエンザ B 型：12 月さくら病棟・ゆり病棟

- ・ウイルス性急性気管支炎、急性肺炎による感染対策 6 件
- ・基本的な感染症対策に留意しながら、面会、外出・外泊を実施。
- ・リハビリテーション部、入所支援係・療育支援係と連携を図り、医療的ケア、日常生活支援、療育活動、レクリエーション、リハビリテーション、日中活動、日課等、感染症対策を重視しながら安心安全な生活支援を実施した。
- ・入所部門リハビリテーション検討プロジェクトにより、利用者のリハビリ時間の拡大に努めた。
- ・人事考課制度に沿って、仕事力・人間力を評価し、個人面談により職員のモチベーション向上とスキルアップに繋げた。
- ・施設基準の 7：1、20：1 看護体制を維持するために職員を確保し、変則勤務の調整、毎月夜勤専従の導入により継続して基準を満たすことができた。
- ・ハートピース相談会の定期的な利用により、職員が仕事上の悩みや不安を相談でき、メンタルヘルスケアに繋がった。
- ・職員のハラスメントによる懲戒処分 2 名。
- ・引き続き電子カルテ委員会を中心に、マニュアルの整備や病棟間の情報共有、多職種との連携を図り、電子カルテシステムの活用拡大に向けて取り組んだ。

1. 利用者の療育強化に関する対策

- (1) KOMI 理論から導き出された「生活の処方箋」で利用者一人ひとりの生活過程を健康的に捉え、「かかわりの質」をした大切にした。
- (2) 利用者の持てる力が最大限に発揮できるように療育活動を充実させた。
- (3) 家族との連携は、バースデーカードやレクリエーション時の写真の郵送、体調変化時の医師からの説明、体調不良時の連絡、その後の経過報告等を細やかに行った。
- (4) ふれあいの日（2 部制（午前・午後））の予約制を継続して実施した。
（4 月～11 月 8 回実施）
- (5) 利用者本人や家族の希望に沿って外出・外泊を実施した。外出 9 名（37 件）・外泊 9 名（42 件・67 泊）
- (6) 社会参加活動でドライブ、公園散策、ドライブスルー等を計画し、外出の機会を増やした。

2. 利用者の安全な医療・福祉を提供する対策

(1) 利用者の健康管理

- ・細やかな観察で利用者の体調変化に気づき、早期に対処できた。
- ・加齢に伴う新たな疾患、機能低下等の病状変化に、医師・多職種・外部専門医療機関との連携を図り、適切に対処した。
- ・排痰目的のためのパーカッションベンチレーターやカフアシストを実施し、肺炎予防効果を発揮している。パーカッションベンチレーター17 名、カフアシスト 34 名使用。

(2) 感染防止対策の強化

- ・標準予防策に加えて、サージカルマスク・利用者に関わる際のフェイスシールドの着用により、飛沫感染予防対策を徹底した。
- ・感染症発生に伴う病棟の感染対応は 14 件であった。
- ・感染症の持ち込み防止対策を強化した。
職員の体調管理と体調確認の徹底、出勤時検温の継続。
面会は感染症に留意しながら利用者、家族の希望に沿って柔軟に対応した。

(3) 5S 活動の継続

- ・5S 活動で生活環境を整備し、安全・清潔・快適な生活空間を提供した。

(4) 事故防止対策の強化

- ・インシデントレポートで情報共有を図り、対策の周知徹底に取り組んだ。
- ・SOS 訓練：7 月たんぼぼ病棟、11 月さくら病棟
CPR 研修：月単位で病棟毎にトレーニング用人形、他必要物品を常備し、救急蘇生・挿管介助技術訓練を実施した。今後も継続して実施していく。
- ・普通救命講習会：3 回実施（6 月・9 月・11 月）
- ・SOS システム発動 1 件（気管切開部からの出血）

- ・学研ナーシングサポートの e-ラーニングシステムを活用し、学習の機会を確保した。研修委員会を中心にテーマを決め、病棟毎に自己啓発として視聴した。
- ・マッスルスーツ、床走行式介護リフト、スライディングボード・スライディングシートの活用で職員の腰痛予防対策を強化した。
- ・スライディングボードの安全な使用方法に関して、業者の説明会・デモンストレーションを開催した。
- ・職員 2 名が膝を負傷し、長期療養を余儀なくされた。
- ・重大事故発生時には医療安全推進委員による現場検証が実施され、再発防止対策を講じた。
- ・現場検証 22 件、行政への報告 11 件。
- ・人間違いの誤薬 4 件。
- ・見守りカメラの録画データを確認し、インシデントの原因究明と再発防止対策、職員の手技やケア方法の確認、指導につなげた。

3. 職員の資質向上に対する対策（別表参照）

（1） 職員研修

- ① 新任職員研修②現任教育③看護補助者研修④医療機器勉強会
- ⑤各専門職研修・自己啓発研修（各職能団体主催研修）

（2） 症例発表会

- ・病棟毎に症例のまとめに取り組み、6 月に看護部内症例発表会を開催。各病棟から 1 題ずつ発表した。
- ①障害児者福祉施設における同性介助の実態と課題～現場調査を通じた考察～
- ②行動障害のある重症心身障害者の骨折後の ADL 向上に向けた取り組み
- ③電子カルテ導入による申し送り廃止の施行と課題
- ④福祉用具の活用～腰痛予防に向けた取り組み～
- ⑤摂食嚥下機能の回復・維持を目指した取り組み～「楽しく食べたい」食の QOL 向上を求めて～

5. 業務の改善、合理化・省力化に対する取り組み

- （1）臨床工学技士による医療機器安全管理と新規導入の医療機器や人工呼吸器取り扱いの勉強会を繰り返し実施し、医療機器の安全な使用に努めた。
- （2）事務クランクの有効活用、データ入力作業等の委譲。
- （3）病棟会、看護会、介護会、チーム会、各種委員会で業務改善に取り組んだ。
- （4）有休休暇消化率の向上に取り組んだ。
- （5）働きやすい病棟作り（丁寧な指導による人材育成）が離職防止につながった。

6. その他の活動

(1) 実習生受け入れ

* 看護 *

受け入れ校	学科	学年	実習期間	人数
鹿児島医療法人 協会立看護専門学校	看護学科	3 年生	11/17～11/27	4 名

* 介護 *

受け入れ校	学科	学年	実習期間	人数
鹿児島女子短期大学	生活科学科 生活福祉専攻	2 年生	11/3～11/21	1 名
鹿児島国際大学	福祉社会学部 社会福祉学科	4 年生	8/11～9/5	2 名
原田学園鹿児島医療 技術専門学校	介護福祉学科	1 年生 1 年生	10/15～10/30 11/19～12/4	3 名 3 名
南学園鹿児島医療福 祉専門学校	介護福祉学科	1 年生	2/26～3/9	2 名

(2) ふれあい看護体験：7 月中学生 2 名

オープンホスピタル 計 6 回/22 名参加

6/21：鹿児島女子短期大学生生活福祉学科生活福祉専攻 1 年生 7 名

6/28：南学園鹿児島医療福祉専門学校介護福祉学科 1 年生 5 名

7/5：南学園鹿児島医療福祉専門学校介護福祉学科 1 年生 4 名

7/30：南学園鹿児島医療福祉専門学校介護福祉学科 1 名

原田学園鹿児島医療技術専門学校介護福祉学科 1 名

8/7：開陽高校福祉科 1 名

10/22：鹿児島国際大学福祉社会学部社会福祉学科 4 年生 3 名

2026 年度新卒新人介護福祉士 2 名の採用につながった。

計 6 回/22 名参加

(3) 仕事と生活のバランスの良い働き方「ワークライフバランス」を目指した

①子育て支援：施設内託児所の活用、変則勤務・夜勤回数の軽減、短時間勤務、
育児休業、子の看護休暇等

②介護支援：有給休暇、介護休暇

③その他：ストレスマネジメント、リフレッシュ休暇、誕生日休暇、有休休暇
の有効活用、夜勤者の体調管理

(4) 外部への講師派遣

① 原田学園医療技術専門学校介護福祉学科1年生

「障害の理解Ⅱ」 4月10日～9月26日 30時間(15コマ)：有村裕二

「介護総合演習A」9月1日 2時間(1コマ)：南亜紀奈

② 鹿児島女子短期大学生活科学科生活福祉専攻1年生「障害の理解Ⅰ」

9月22日～2026年3月15日 16時間(8コマ)：有村裕二

14時間(7コマ)：成元恵美

【医療状況】2026年3月末

	項目	2024 年度	2025 年度	たんぽぽ	ゆり	さくら	すみれ	なのはな
入 所 ・ 利 用 者 数	総数 (3月末)	189名	185名	37名	36名	36名	38名	38名
	新規入所	5名	2名	1名	0名	0名	1名	0名
	退所	5名	4名	2名	0名	2名	0名	0名
	有期有目的入院	2名 (2件)	2名 (2件)	1名 (2件)	0名	0名	0名	0名
		105日	92日	92日	0日	0日	0日	0日
	短期入所	148件	229件	44件	61件	37件	52件	35件
		454日	637日	92日	204日	104日	138日	99日
	超重症児	39名	39名	7名	0名	9名	11名	12名
	準超重症児	33名	30名	5名	0名	5名	11名	9名
医 療 的 対 応	人工呼吸器	17名	16名	2名	0名	6名	3名	5名
	気管切開	39名	36名	6名	0名	9名	11名	10名
	CVポート	6名	4名	1名	0名	2名	1名	0名
	胃瘻	93名	95名	15名	4名	20名	28名	28名
	膀胱カテーテル	4名	5名	1名	1名	2名	0名	1名
	経鼻経管栄養	6名	5名	2名	0名	0名	1名	2名
	パーカッションベンチレーター	9名	17名	4名	0名	2名	6名	5名
	カフアシスト	32名	34名	8名	0名	9名	7名	10名

【センター内専門医療受診状況】

科目	たんぽぽ		ゆり		さくら		すみれ		なのはな		総数	
	実 員	受 診	実 員	受 診	実 員	受 診	実 員	受 診	実 員	受 診	実 員	受 診
皮膚	11	55	12	20	19	182	25	153	22	118	89	528
耳鼻	13	14	7	9	9	17	18	32	5	13	52	85
泌尿器科	2	2	8	37	8	41	6	29	4	5	28	114
歯科	39	573	37	454	39	626	38	517	38	487	191	2,657
小外	4	24	2	8	3	40	9	43	3	5	21	120
眼科	3	4	0	0	2	4	8	17	4	8	17	33
整形	1	1	1	1	4	4	9	9	7	7	22	22
婦人科	5	20	4	4	1	4	6	15	2	3	18	46
循環器	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4

【センター外専門医療機関受診状況】

診療科目等	入院		外来	
	実人員	延入院日数	実人員	延受診日数
小児科	0	0	1	5
内科	1	16	1	1
循環器科	1	34	3	3
小児外科	4	48	8	11
脳外科	2	26	4	9
泌尿器科	1	3	2	2
眼科	0	0	2	2
耳鼻咽喉科	0	0	2	2
乳腺科	0	0	5	5
整形外科	1	10	2	4
救急科(HCU)	6	512	3	4
婦人科	0	0	1	1
計	16 名	649 日	34 名	49 日

※外部入院) 胃瘻造設 3 名、シャント感染 1 名、イレウス 3 名、気管出血 1 名、急性膵炎 1 名、骨折 1 名、急性心不全 1 名、胆管炎 1 名、尿管腫瘍疑い精査 1 名、呼吸状態悪化等による緊急入院 (HCU) 3 名

【病棟毎ケースカンファレンス及び学童児の支援会議実施報告】

	たんぽぽ	ゆり	さくら	すみれ	なのはな	合計
5月	8	7	8	7	8	38
6月	8	8	8	8	8	40
7月	7	7	8	7	8	37
8月	6	7	7	8	7	35
9月	7	8	6	7	7	35
10～3月	1	0	0	1	0	2
合計	37	37	37	38	38	187

【入院基本料にかかる寝具提供状況】

種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
包布	0	679	363	150	82	138	380	729	670	610	640	590	5,031
ダブルシート	0	0	0	0	27	49	100	60	40	40	40	36	392
ワンタッチシート	471	821	671	741	465	613	763	755	730	620	640	590	7,880
袋シート	0	183	152	196	97	170	210	180	175	150	140	131	1,784
敷パット	0	35	38	0	43	43	45	55	55	70	40	40	464
敷パット(厚)	0	82	72	0	40	55	77	65	60	65	55	64	635
敷布団	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	12

防水シート	880	1,100	880	1,060	836	880	1,060	820	1,100	880	880	880	11,299
鏡シート	0	37	30	46	41	40	50	45	47	34	34	29	433
肌布団(1/2)	0	5	4	5	1	5	5	7	6	6	4	5	53
肌布団(NB)	0	115	60	95	65	55	290	113	70	80	90	105	1,138
半包布	1	176	0	0	0	0	0	3	5	2	3	5	195
タオルケット	0	394	389	645	504	540	480	245	290	320	300	260	4,367

＊前年度比

	包布	シート	袋シート	敷パッド	敷パッド(厚手)	防水シート
2024 年度	5,404 枚	8,518 枚	1,927 枚	533 枚	843 枚	11,430 枚
2025 年度	5,031 枚	7,880 枚	1,784 枚	464 枚	635 枚	11,256 枚

	鏡シート	肌布団(NB)	肌布団(1/2)	半包布	タオルケット	敷布団
2024 年度	398 枚	1,241 枚	69 枚	7 枚	4,265 枚	2 枚
2025 年度	433 枚	1,138 枚	53 枚	195 枚	4,367 枚	12 枚

【新規採用職員教育及び現任教育】

月 日	テーマ	採用	講師	受講者
4/1	2024 年度新規採用者職員研修 1 日目	新規		12 名
4/2	2024 年度新規採用者職員研修 2 日目	新規		12 名
5/28	看護部新規採用職員研修（臥床体験等）	新規	プリセプター	12 名
5/29	看護部新規採用職員研修 （看護部方針・感染対策・リスクマネジメント 記録・人権擁護・医療機器取り扱い・腰痛予防）	新規	各係 宮内 CE	11 名

5/21	重症心身障害児者のコミュニケーション	新規・派遣	ST	12 名
6/25	重症心身障害児者の口腔ケア	新規・派遣	下松 歯科医師 藤崎 歯科衛生士	12 名
6/25	普通救命講習①	新規	応急手当普及員	8 名
7/8	リスクマネジメント KYT 研修	新規・派遣	リスク部員	13 名
7/23	リハビリテーション講義「日常生活の基本」	新規・派遣	岩下部長	12 名
7/24	リハビリテーション実技	新規・派遣	PT	12 名
8/20	日常生活援助の基本：摂食介助	新規・派遣	ST	11 名
9/9	5S 研修会	新規・派遣	小林由美子 堀中ルナ	13 名
9/17	呼吸リハビリテーション	新規・派遣	PT	10 名
9/24	普通救命講習②	希望者	応急手当普及員	5 名
10 月	異職場一日体験（ランドリー）	2 年目	家政係	12 名
11/19	福祉制度	新規・派遣	野田部長	9 名
11/26	普通救命講習③	希望者	応急手当普及員	5 名
2/25	ナイチンゲール KOMI ケアリング研修	新規	立神昌代 鶴田規朗	11 名

【介護係(看護補助者研修会)】 集合研修+ e-ラーニング視聴

日付	内容	講師	参加人数
11/29	・看護補助者とは 看護補助者研修の目的 ・法人倫理綱領について ・集合研修、グループワーク ・表現トレーニング ・学研ナーシングサポート e-ラーニング「看護補助者関連コース 32 項目」視聴学習	藤井章雄・佐々木仁美	24 名
12/3		川添正智	6 名
12/13		道中なぎさ	15 名
1/21		納瀬誠幸・西聡美	15 名
2/21		小林由美子・岩重素子	3 名
3/17		道中なぎさ	1 名
			合計 64 名

【出張研修・自己啓発研修】

月	研修名	主催	場所	参加者
4	令和7年度新入職員研修会	鹿児島市医師会	鹿児島市 医師会館	野田優翔・寺田晃副 浜崎夏帆・相良咲苗
4	第9回南薩PEGと経腸栄養を学ぶ会	南薩PEGと経腸栄養を学ぶ会	指宿市	上大輔・西まゆみ
5	第68回重症障害児（者）医療看護師講習会	社会福祉法人日本 肢体不自由児協会 心身障害児総合医 療療育センター療 育研修所	東京都心身 障害児総合 医療療育セ ンター療育 研修所	米倉公洋
5	第35回日本臨床工学会	日本臨床工学技士 会	大阪府 大阪市	宮内昭吾
5	令和7年度社会福祉施設等新任職員 研修1班（5/15～5/16）	鹿児島県社会福祉 協議会	市町村自治 会館	野田優翔・寺田晃副
5	令和7年度社会福祉施設等新任職員 研修2班（5/27～5/28）	鹿児島県社会福祉 協議会	オンライン	中田修治・紅林大翔
5	アドバンテッジリスクマネジメント セミナー（個と組織のパフォーマンス 最大化につながる「メンタルタフネス 度」とは）	（株）アドバンテ ッジリスクマネジ メント	オンライン	有村裕二
5	令和7年度日本重症心身障害福祉協 会全国施設協議会	公益社団法人日本 重症心身障害福祉 協会	長崎県 長崎市	濱崎久代
6	令和7年度鹿児島県看護協会通常総 会	鹿児島県看護協会	鹿児島県市 町村自治会 館	下川千里
6	第49回鹿児島県滅菌業務研究会	鹿児島県滅菌業務 研究会	鹿児島県市 町村自治会 館	白石優子 西まゆみ 上大輔
6	身体拘束・虐待防止に関する研修会	一般社団法人鹿児 島県介護福祉士会	鹿児島県市 町村自治会 館	南亜紀奈
6	令和6年度社会福祉施設等中堅職員 研修（6/25～6/26）	鹿児島県社会福祉 協議会	オンライン	横山宗和・水流茂雄 田島信行

6	第1回介護生産性向上に関する研修会	鹿児島県社会福祉協議会	カクイックス交流センター	有村裕二
6	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	鹿児島県看護協会	鹿児島県看護協会	西聡美・岩重素子 内村ひな子
7	令和7年度九州沖縄地区重症心身障害施設経営研究会	社会福祉法人向陽会やまびこ医療福祉センター	レクストン鹿児島	濱崎久代・道中なぎさ 有村裕二・比良朝代 堀中ルナ・立山尚史
7	第25回心電図セミナー誰でもよく分かる心電図（初級コース）	鹿児島県臨床工学会	鹿児島県市町村自治会館	野田優翔・寺田晃副
7	「介護セミナー」障害分野における身体拘束・虐待防止の難しさを考える	一般社団法人鹿児島県介護福祉士会	オンライン	佐々木仁美
7	新人看護職員卒後研修（教育担当者研修）	鹿児島県看護協会	鹿児島県看護協会	佐々木仁美
7	認定看護管理者教育課程（ファーストレベル）	鹿児島県看護協会	鹿児島県看護協会	西聡美
7	第12回鹿児島セーフティーマネジメント研究会学術集会	鹿児島セーフティーマネジメント研究会	オンライン	道中なぎさ 下川千里
8	ホームカミングデイ	原田学園鹿児島医療技術専門学校	看護学科	野田優翔・寺田晃副
8	医療安全管理者研修「心理的安全性と組織の安全文化」	鹿児島県看護協会	鹿児島県看護協会	道中なぎさ
8	令和7年度鹿児島地区医療安全ネットワーク会議（全4回）	鹿児島県看護協会 鹿児島地区	オンライン	道中なぎさ
8	令和7年度第1回医療事故調査制度研修会（医療安全管理研修会）	鹿児島市医師会	鹿児島市医師会館	道中なぎさ 下川千里
9	令和7年度全国重症心身障害児者施設職員研修会「看護師コース」	日本重症心身障害福祉協会	大阪市アンピールホテル大阪	本田隆行 山田大地
9	令和7年度救護班要員研修Ⅰ	日本赤十字鹿児島県支部	鹿児島県赤十字会館	下川千里
9	専門職としての第一歩～看護師としての自覚と責任ある行動について考える～	鹿児島県看護協会	鹿児島県看護協会	野田優翔・寺田晃副

9	医療安全管理者認定講座 「基礎管理コース」	一般社団法人日本 病院管理機構	オンライン	道中なぎさ
10	令和7年度全国重症心身障害児者施 設職員研修会「看護管理研究会コー ス」	日本重症心身障害 福祉協会	東京都 TOC 有明コンベ ンションホ ール	濱崎久代 道中なぎさ
10	令和7年度社会福祉施設等監督職員 研修	鹿児島県社会福祉 協議会	オンライン	盛喜里実・福ヶ野誠 川邊賢吾
10	令和7年度障害福祉分野の ICT 導入支 援研修会	公益財団法人介護 労働安定センター 鹿児島支部	オンライン	濱崎久代 有村裕二
10	令和7年度院内感染対策講習会	厚生労働省	オンライン	立神昌代 内村ひな子
10	令和7年度鹿児島県医師会医療関連 感染対策研修会	鹿児島県医師会		濱崎久代・道中なぎさ 比良朝代
10	2025年度医療安全管理者養成研修	日本看護協会	オンデマンド ＋集合研修	下川千里
10	「医療事故の再発防止に向けた提言」 を活用した医療安全活動	一般社団法人日本 医療安全調査機構	オンデマンド	道中なぎさ 下川千里
11	第154回摂食・嚥下評価指導（基礎・ 実習）講習会	心身障害児総合医 療療育センター療 育研修所	オンデマン ド	内村ひな子
11	令和7年度介護福祉士養成実習指導 者講習会	一般社団法人鹿児 島県介護福祉士会	鹿児島県社 会福祉セン ター	小峯美和
11	2025年度医療 DX 人材育成プログラム	全日本病院協会	オンライン	宮内昭吾
11	第1回医療安全対策研修会	鹿児島県医師会	鹿児島県医 師会館	濱崎久代・道中なぎさ 比良朝代・佐々木仁美 小林由美子・下川千里
12	令和7年度全国重症心身障害児者施 設職員研修会「保育士・児童指導員等 （療育職員）コース	日本重症心身障害 福祉協会	大阪市 アンピール ホテル大阪	玉井真希子
12	保健師助産師看護師実習指導者講習 会	鹿児島県看護協会	鹿児島県看 護協会	花田美香子
12	令和6年度福祉サービスリスクマネ ジメント研修	鹿児島県社会福祉 協議会	オンライン	道中なぎさ

1	第 20 回九州・沖縄臨床工学会	鹿児島県臨床工 技士会	大分市別府コ ンベンション センター	宮内昭吾
1	令和 7 年度看護補助者確保支援事業報告 会	鹿児島県看護協会	オンライン	濱崎久代 道中なぎさ
2	令和 7 年度介護セミナー 障害支援分野での介護倫理のポイント	一般社団法人鹿児 島県介護福祉士会	オンライン	有村裕二
2	超速報！令和 8 年度診療報酬改定	ヴェクソンインタ ーナショナル株式 会社	オンデマンド	濱崎久代 道中なぎさ 有村裕二
	病院部門責任者研修	全日本病院協会	オンライン 東京都	楠元宏司

【就職ガイダンス・企業説明会】

日にち	内容	場所	参加者
6/7	高校生とその保護者・先生のため の「かごしま合同企業説明 会」	オンライン	道中なぎさ 浜崎夏帆
8/3	鹿児島看護就職ガイダンス	鹿児島県庁 2 階講堂	道中なぎさ

【養成校就職ガイダンス・実習指導者会議等】

日にち	内容	場所	出会者
6/20	令和 6 年度介護実習連絡会（ZOOM）	鹿児島女子短期大学 生活科学科生活福祉 専攻	成元恵美
7/4	南学園鹿児島医療技術専門学校介 護福祉学科	鹿児島医療福祉専門 学校	有村裕二
11/27	令和 7 年度鹿児島国際大学介護実 習指導者懇談会	鹿児島国際大学	立山尚史
12/11	学内事業所ガイダンス「業界探求」	鹿児島女子短期大学 生活科学科生活福祉 専攻	有村裕二
2/6	令和 7 年度情報交換会	鹿児島女子短期大学 生活科学科生活福祉 専攻	有村裕二
3/10	学内合同就職説明会	鹿児島国際大学看護 学部	濱崎久代

リハビリテーション部

1、リハビリテーションの実施状況

(1) 入院・入所係 利用者数

	対象人数	実施延べ人数／年	療法士数
理学療法	190	50,702	4.8
作業療法	190	10,207	9.8
言語聴覚療法	190	9,325	8.3
計	190	30,759	22.9

心理療法は、カウンセリングや発達検査の現状確認を行った。

(2) 外来・地域係 利用者数

	外来			たらちね学園			みなよし療護園			療法士数
	対象人数	新規人数	延人数	対象人数	新規人数	延人数	対象人数	新規人数	延人数	
理学療法	384	53	7,982	1	0	14	10	4	888	5
作業療法	361	122	5,498	8	3	184	32	1	1,162	6
言語聴覚療法	354	132	4,249	3	3	15	6	1	144	4.7
心理療法	380	214	844	5	4	18	0	0	0	7

(3) 障害児等療育支援事業およびセンタースタッフ派遣事業実績

	療育支援事業			スタッフ派遣	
	施設支援	訪問療育指導	拠点施設支援 (鹿児島市外)	児童発達支援事業所・保育園・幼稚園	公的機関 (保健センター等)
理学療法	31回	8件		52回	23回
作業療法	73回	15件	3件	105回	27回
言語聴覚療法	61回	12件	12件	92回	35回
心理療法	31回	0件		44回	18回

2、職員の資質向上

(1) 部内研修会（週1回）

＊理学療法係・作業療法係・言語聴覚療法係・心理療養係と共催

検討会：29 ケース 研修会：8 回 療法別カンファ：4 回

課別カンファ：4 回

(2) リハビリテーション部月例勉強会

開催	題目・内容	講師	参加
7 月	InBody について知ろう	外来・地域課 理学療法士 下畠 友紀 外来・地域課 理学療法士 太鼓 真望	33 名
10 月	看護部における日中活動支援 について	すみれ病棟 看護師 藤井 章雄	46 名
11 月	心理師から伝えたいこと	心理療法係 一同	28 名
12 月	スイッチでコミュニケーション を広げたい	入院・入所課 言語聴覚士 田之上 菜泉 入院・入所課 言語聴覚士 井上 朋子	22 名
1 月	子どもの行動 ー感覚統合の視点からー	外来・地域課 作業療法士 黒岩 美知子	25 名

(3) リハビリテーション部内研究・研修会 (2 回)

- ・業務の中から、より深めた理解につなげるために研究にも取り組んでいる。かつ、外部の学会等で発表を経験する機会として、研究・研修会を行った。

開催	内容	演題
9 月	研究発表会：学会発表形式	発表演題 7 題

(4) 学会、研修会への発表・参加

受講期間	実施場所	人数	研修名
6 月	宮崎市	1 人	九州作業療学会 2025in 宮崎で発表 「身体的主訴に対して認知・心理的アプローチ が有効となった一例」 発表者 作業療法士 坂田 麻衣
9 月	神戸市	1 人	第 44 回日本心理臨床学会でポスター発表 「PVL 児の認知と適応との関連に関する考察」 発表者 公認心理師 内村 麻美
9 月	横浜市	1 人	第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会で 発表 「重症心身障害児者の摂食嚥下機能と InBody 骨格筋指数の関連について」 発表者 言語聴覚士 佐藤 瑞枝
10 月	さいたま市	2 人	第 36 回重症心身障害療育学会学術集会 「ミトンから 5 本指手袋へ身体拘束軽減を

			目指す病棟との取り組み」 発表者 作業療法士 房内 望
11 月	津市	2 人	第 50 回日本重症心身障害学会学術集会で発表 「経口群と非経口群の頸部屈曲関節可動域の差 について」 発表者 理学療法士 尾崎 陽子
12 月	大阪市	4 名	令和 7 年度全国重症心身障害児者施設職員 研修会「医療技術管理コース」に参加 参加者 理学療法士 太鼓 真望 作業療法士 大熊 恵美子 言語聴覚士 田之上 菜泉 公認心理師 牛衛 瑠海

（５）実習生受け入れ状況

<理学療法>

- ・鹿児島大学 医学部 保健学科 理学療法学専攻 1 名
5 月 12 日～7 月 4 日（8 週間）
- ・原田学園 鹿児島医療技術専門学校 理学療法学科 1 名
7 月 22 日～9 月 12 日（8 週間）

<作業療法>

- ・鹿児島大学 医学部 保健学科 作業療法学専攻 1 名
7 月 22 日～9 月 13 日（8 週間）
- ・原田学園 鹿児島医療技術専門学校 作業療法学科 1 名
7 月 14 日～9 月 5 日（8 週間）
- ・長崎大学医学部 保健学科 作業療法専攻 1 名
4 月 28 日～6 月 14 日（8 週間）

<言語聴覚療法>

- ・鹿児島第一医療リハビリ専門学校 言語聴覚学科 1 名
6 月 2 日～6 月 27 日（4 週間）
- ・鹿児島医療技術専門学校 言語聴覚療法学科 1 名
5 月 12 日～7 月 19 日（8 週間）

<心理療法>

- ・志学館大学大学院 心理臨床学研究科 1 名
6 月 16 日～6 月 27 日

<他部署実習生に対する講話>

- ・他部署の実習生（看護師・介護士）に対してリハビリテーションの講話を行い、多職種連携・協働について理解を促した。

福 祉 部

施設福祉課

【入所支援係】

◎医療型障害児入所、療養介護

- ・新規入所については療養介護4名、内訳は他医療機関と在宅から各1名、障害児入所から年齢到達による移行者2名の実績で入所に向けて事前訪問や入院中の医療機関へ情報収集を行うなどの調整、手続きの支援を滞りなく行うことができた
- ・入所者確保については、安定的な運営を目指し満床を目標にしたが十分な確保に至らず今後の大きな課題となった
- ・年間予定として説明同意とケース会議を同日開催の案内を家族や成年後見人へ周知し参加への働きかけを行ったことで説明同意183件、ケース会議150件の参加を得ることができた

◎短期入所・日中一時支援事業

- ・新規での利用者6名を含め再利用相談27件に対し、新型コロナ感染流行が大規模化しなかったこともあり利用につなげることができた
- ・利用相談に対し関係部署と調整を図り可能な限り受け入れ拡大を図り、利用延べ日数で前年度比1.4倍の増加実績となった

【療育支援係】

◎入所療育部門

- ・病棟内の感染症流行があまり拡大しなかったことで前年度ほど療育中止の措置となることが少なかったため療育活動やコーヒータ임、レクリエーションなど前年度よりも活動実績を伸ばすことができた
- ・自己決定を重んじて、活動内容を利用者自ら選択、決定する機会を多く作り利用者の満足感や達成感を高められる工夫を図った
- ・これまで以上に看護部との連携を深め病棟レクリエーション、誕生会、社会参加活動など利用者の生活に寄り添った幅広い活動を行った

◎事業所内託児所（キッズルームやまびこ）

- ・登録児数、一日受け入れ平均数とも前年度とほぼ変わらない実績ではあったが、日祝日の受け入れ体制や臨時利用希望への臨機応変な対応を行ったことで不定期利用が前年度比1.5倍となった
- ・年齢の違う利用児個々の発達段階に応じた遊びを多く取り入れ、異年齢間でのかかわり方の学びや思いやる気持ちなどが深められる活動の工夫を行い、育ちに寄り添う保育の取り組みを行った

【相談支援係】

◎障害児等療育支援事業、療育拠点施設事業

- ・これまで同様リハビリテーション部、歯科衛生係と内部連携を図りながら事業所や保育園等からの支援ニーズ把握に努め専門職派遣を行うことができた
- ・県こども総合療育センターとの協議により事業内容の一部見直しを行い、施設支援一般指導事業利用が3年を超えた事業所の支援終了を含めた対応を進めた

◎特定相談支援事業・障害児相談支援事業

- ・法人内入所系契約者においては、療護園やセンター内関係部署との連携により更新・モニタリング等の計画相談を確実に実施することができた
- ・在宅の契約者においては、家庭事情によるニーズの変化にも都度対応し福祉サービス利用の調整や行政手続きの支援等行うことができた

【通所支援Ⅰ係】

◎生活介護事業（デイサポート通所やまびこ）

- ・一日の受け入れ予定者数を増やし、かつ臨時の入浴、利用予定外の臨時受け入れなど積極的に行い前年度を上回る実績とすることができた
- ・個別支援計画、モニタリング実施における家族面談の機会を通じてニーズの把握に努め他関係機関との連携を深めながら生活全般に視点を置いた活動やサービス提供に努めた
- ・季節行事やチーム戦でのゲーム、共同作品制作等他者と協力し達成感を味わい仲間を意識できる活動を増やし利用者間、職員と共感を得る充実した日中活動が提供できた
- ・利用者家族へ日々の様子の伝達を通して信頼関係を構築し安全安心に利用していただける工夫や相談支援事業所、他利用事業所との密な情報交換により利用者に寄り添った支援の提供を行うことができた

【通所支援Ⅱ係】

◎児童発達支援事業／放課後等デイサービス（発達サポートるっか）

- ・放課後等デイサービスについては利用者の希望に合わせ受け入れ増となったが、児童発達支援事業については予定した利用者獲得ができずに実績を伸ばすことができなかった
- ・利用者獲得のための広報の工夫や広報手段、範囲の検討が今後の課題となった
- ・リハビリテーション部との連携により利用児の身体状況の確認やより良い発達支援の方法等職員への指導を仰ぎながら療育活動に活かすことができた
- ・利用児個々の要望や特性に合わせた環境設定を行い主体的に取り組める個別活動をおこなうことで自己肯定感や有能感を育むことができた
- ・非常災害、送迎時緊急時の訓練を定期的に実施し問題点や改善方法を検討しセンター内の応援体制や職員の動き等確認する機会を多く持った

総 務 部

—総 務 課—

【総括】

2025年度は、自然災害や感染症などの危機に備えるためのBCP計画が既に整備されていることを踏まえ、引き続き想定される災害等への対応力向上と準備体制の強化を重点的に推進した。

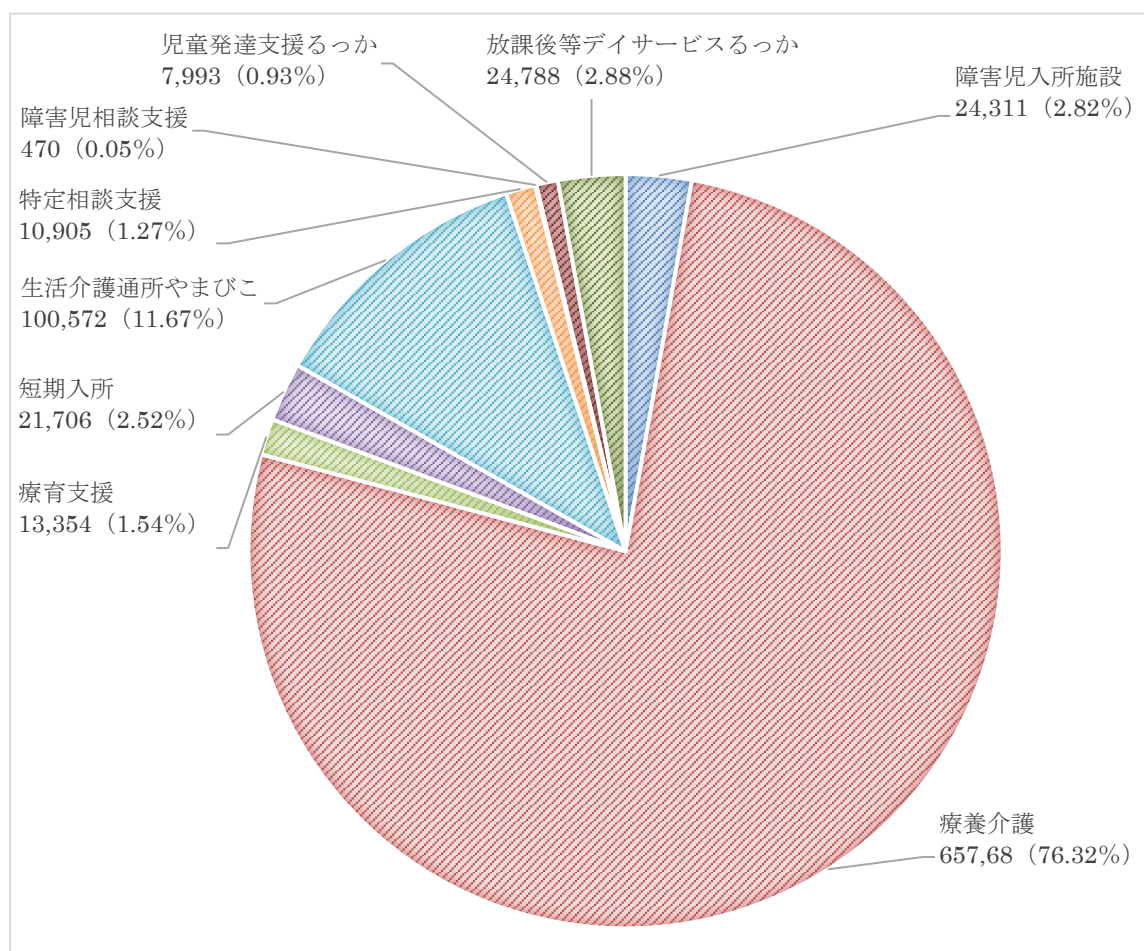
また、各部署と継続的に連携し、効率的な運営による安定的な経営体制の構築、透明性の高い施設運営、規律ある職場の実現に努めた。あわせて、労働時間管理や処遇(有給休暇)、多様な働き方等の課題について、職員の視点に立ち検討を進めた。

退職による体制の変更はあったが、他部署へ迷惑をかけることなく、業務を滞りなく遂行することができた。

【2025年度 障害福祉サービス等事業収入内訳】

障害福祉サービス等事業収入合計 861,788 千円

単位：千円



【職員の資質向上のための取り組み（研修会参加状況）】

研 修 名	場 所	開 催 日
管理者向けメンタルヘルス研修会	センター内	5 月 14 日（水）
日本重症心身障害福祉協会 全国施設協議会	長 崎 県	5 月 22 日（木） 23 日（金）
甲種防火管理新規講習	消防総合訓練 研修センター	6 月 24 日（火） 25 日（水）
九州沖縄地区重症心身障害施設経営 研究会	鹿児島市	7 月 17 日（木） 18 日（金）
社会福祉法人 会計研修	オンライン	8 月 1 日（金） 11 月 30 日（金）
救護班要員研修 I	鹿児島県 赤十字会館	9 月 7 日（日）
一般事業所部会 防火・防災研修会	市消防総合訓練 研修センター	10 月 30 日（木）
日本重症心身障害福祉協会 西日本施設協議会	熊本県	11 月 13 日（木） 14 日（金）
全国重症心身障害児者施設職員研修会 「施設管理研究会コース」	福岡県	1 月 22 日（木） 23 日（金）

<医 事 係>

1、事業・活動計画の重点目標に対しての活動概要

【診療報酬請求】

- ・ 2025 年度レセプト提出件数（返戻再請求分含まず）
入院：2,237 件（前年比+12 件） 外来：8,967 件（前年比▲577 件）
歯科：3,402 件（前年比+71 件）
- ・ 返戻
入院：32 件（対総件数 1.43% 前年比▲28 件）
外来：33 件（対総件数 0.37% 前年比▲27 件）
歯科：16 件（対総件数 0.87% 前年比▲13 件）
（内容）
 - ・ 保険情報の誤り
 - ・ 記載内容の不備（取下げ依頼含む）
- ・ 査定、減点
入院：115 件（対総件数 5.14% 前年比+35 件）
外来：47 件（対総件数 0.52% 前年比▲58 件）
歯科：18 件（対総件数 1.62% 前年比▲36 件）
（内容）
 - ・ 点滴時の抗菌薬同一薬品の漫然（14 日以上）処方
 - ・ 薬剤・検査等に対する病名もれ
- ・ 再審査請求
医科：6 件、歯科：1 件が増点（査定取り消し）。
査定・減点については関係部署へ報告・相談し、その都度対策を講じる。

【診療報酬改定の情報収集】

- ・ 厚生労働省や九州厚生局のホームページ
- ・ 日本施設基準管理士協会からのメール等

【DPC の評価・検証等に係る調査】

- 4 月 2025 年 1～3 月データ提出
- 6 月 2025 年 1～3 月分データチェック
- 7 月 2025 年 4・5 月データ提出
- 9 月 2025 年 4・5 月分データチェック
- 10 月 2025 年 6～9 月データ提出
- 12 月 2025 年 6～9 月データチェック
- 1 月 2025 年 10～12 月データ提出

3 月 2025 年 10～12 月データチェック

- ・期限に遅延することなく提出した。

【ベースアップ評価料】

外来・在宅ベースアップ評価料、入院ベースアップ評価料、歯科外来・在宅ベースアップ評価料について 2024 年 7 月 31 日届出、8 月 1 日より算定開始。

入院ベースアップ評価料については 6 月、9 月、12 月、3 月に各要件の算出を行い、区分変更届出の要否を確認。53 のまま変更なし。

【オンライン資格確認】

令和 7 年 12 月 1 日に、発行済みの全ての健康保険証の有効期限が満了し、マイナ保険証を基本とする仕組みへと移行。

訪問診療プログラム（歯科）や、スマホマイナ保険証に対応すべく、システムを導入。

2、職員資質向上への取り組み

【情報誌定期購読】

「医事業務」（産労総合研究所発行）

【研修会】

第 14 回九州沖縄地区重症心身障害施設経営研究会医療事務担当者研修会への参加（2024 年 6 月 21・22 日 別府発達医療センター）

3、業務改善、合理化、省力化に対する取り組み

・重症心身障害者医療費助成制度において、毎月 10 日必着で CD や紙を毎月 9 日に郵送申請していたが、データをアップロードする形式が追加された。10 日 24 時まで受付可能なため、作業時間に余裕が生まれているが、歯科のデータ作成に苦戦しており、実現できていない。

・RPA が導入された。毎月の繰り返し作業を RPA に代替すべく、シナリオ作成中。

< 栄養管理係 >

1. 給食状況

1) 食事の種類

- ・ 一般治療食（常食、経管栄養食）
- ・ 特別治療食

2) 実施給与栄養量（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の平均）

エネルギー：1433 kcal 蛋白質：55.5 g 脂質：38.7 g 食塩相当量 5.7 g

3) 食事形態

副食の調理形態を普通食・粗キザミ食・まとまりキザミ食・ペースト食の 4 種類に区分し、主食は、軟飯・全粥・つぶし粥・分粥(七分)・高カロリー粥・すり粥・粥ゼリー・パン・パン粥・パンすり粥等に対応した。

4) 行事食（表－1、表－2）

季節を感じる行事食（正月、節句、七夕、クリスマス等）や各病棟の企画を取り入れたバイキングの実施、誕生日デザートを提供を行った。

5) 外来、短期入所、通所

必要に応じて食事（栄養）相談に応じた。

6) 市場調査

年 1 回実施（期間：2026 年 2 月 4 日～2 月 12 日）

7) 嗜好調査

年 1 回実施（期間：2026 年 2 月 9 日～16 日）

8) 食事提供数（表－3、表－4）

2025 年度中の食事提供数は、経口食形態別表－3、食種別表－4 の通りである。食事形態別でみると、普通食は全体の 26 %で、他の粗キザミ食・まとまりキザミ食・ペースト食等、加工技術を要するものが 74 %を占めていた。また食種別でみると特別治療食が 11 %と前年度と変化はなかった。

9) 給食関係職員細菌検査状況（一般細菌検査）

実施月日	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
検査人数	17 名	16 名	17 名	17 名	17 名	17 名
実施月日	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
検査人数	16 名	17 名	17 名	16 名	16 名	16 名

給食関係職員細菌検査状況（ノロウイルス検査）

実施月日	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
検査人数	16 名	17 名	17 名	16 名	16 名	16 名

行事食献立実施内容（表－1）

実施日	行 事 名	献 立 内 容
5 月 5 日	子供の日	オムライス、エビフライ、南瓜サラダ、 ミニトマトゼリー、コーンスープ、 こどもの日クリームソーダ風ゼリー
7 月 7 日	七夕	ちらし寿司、茶碗蒸し、 焼茄子のおかか和え、七夕そうめん汁 天の川ソーダゼリー
7 月 24 日	土用の丑の日	うな井、菜の花のごま風味和え、具たくさん汁、 アイス風デザート
10 月 6 日	十五夜	月見ガパオライス、なすの梅和え、 中華コーンスープ、十五夜デザート
10 月 31 日	ハロウィン	ご飯、豚肉の幽庵焼き、キャベツのごま和え 味噌汁、ハロウィンデザート
12 月 24 日	クリスマス	チキンライス、煮込みハンバーグ、 ポテトサラダ、南瓜スープ、ホールケーキ（寄贈）
1 月 1 日	お正月	赤飯、魚の西京焼き、炒り鶏、清汁、お正月ゼリー
1 月 7 日	七草	七草粥、玉子焼き、和風和え、のり汁
2 月 3 日	節分の日	ご飯、魚のみりん焼き、うの花炒り、みそ汁 節分デザート
3 月 3 日	ひなまつり	ちらし寿司、茶碗蒸しのカニあんかけ、 いんげんの白和え、清汁、ひな祭りデザート

バイキングメニュー（表－2） 【共通テーマ：サンリオ】

すみれ病棟 6月14日	【デザートバイキング】 デコケーキ カップデザート、ケーキ盛り合わせ
さくら病棟 6月28日	【ランチプレート、デザートバイキング】 けろけろけろっぴの菜飯、KIRIMI ちゃんのムニエル ハンバーグ〜ぐでたまのオムレツ添え、ポテトサラダ、 コーンスープ、カットケーキ盛り合わせ、アイス
たんぽぽ病棟 7月26日	【ランチプレート、デザートバイキング】 けろけろけろっぴの菜飯、ハンバーグ〜ぐでたまのオムレツ添え、 たこ焼き、じゃがバター、コーンスープ かき氷風ゼリー、カットケーキ盛り合わせ
ゆり病棟 8月9日	【ランチプレート、デザート】 けろけろけろっぴの菜飯、KIRIMI ちゃんのムニエル ハンバーグ〜ぐでたまのオムレツ添え、ポテトサラダ、 コーンスープ、抹茶プリン、カットケーキ盛り合わせ
なのはな病棟 8月23日	【デザートバイキング】 デコケーキ、カップゼリー、プリン、カットケーキ盛り合わせ

食事提供数【形態別】（表－3）

2026年3月31日昼時点

食種	食数
普通食	27食
粗キザミ食	11食
まとまりキザミ食	50食
ペースト食	16食
計	104食

食事提供数【食種別】（表－４）

2026 年 3 月 31 日昼時点

一般食（非加算）		特別治療食（非加算）	
常食	84 食	肝・胆疾患食	3 食
経管栄養食（食品）	77 食	胃腸疾患食	4 食
経管栄養食（医薬品）	2 食	脂質異常症食	8 食
		貧血食	2 食
		腎臓疾患食	1 食
		膵臓疾患食	1 食
		糖尿病食	1 食
計	163 食	計	20 食

研修等出会状況（表－５）

会 名 称	会 期	場 所	参加者
令和 7 年 給食施設従事者 研修会	8 月 28 日	鹿児島市中央公民館	永松
令和 7 年度全国重症心身障害児 者施設職員研修会	10 月 16～ 10 月 17 日	アンピールホテル大阪	仮屋 池之上
第 12 回九州地区重症児（者） 食・栄養研究会	3 月 4 日	愛泉会日南病院	永松 安倍松

<理 容 係>

1. 事業活動報告

- ・散髪予定表を活用し、係の担当者と連携を図り、利用者が安心・安全に利用できるよう努めた。
- ・感染症の流行や利用者の体調不良により、予定どおり実施できない月もあったが、担当者と相談のうえ、体調の良い利用者に変更して実施した。
- ・利用者のヘアスタイルについては、利用者・担当者・介助者に確認し、協力を得ながら対応した。

2025 年度 散髪利用者数実績

たんぽぽ病棟	217 件	なのはな病棟	236 件
ゆり病棟	313 件	みなよし療護園利用者	124 件
さくら病棟	228 件		
すみれ病棟	240 件	合計	1,358 件

<家 政 係>

1. 事業・活動計画の重点目標

(1) 5 S 活動

5 S 活動実行計画チェック表を活用しているが、細部まで行き届かない部分があった。

(2) 機器の不具合、故障の対策

エラーや不具合を早期に発見し、速やかに対処することができた。

長期使用の機器が多いため、今後も留意しながら業務を行う。

(3) 作業効率を上げるためのコミュニケーションの強化

(目配り、気配り、声掛け、協調性の強化)

コミュニケーションの強化を心掛け、声掛けや連絡ノートなどを用いて情報共有を図り、インシデントを未然に防ぐことができた。

(4) 感染予防対策

洗濯物（感染）の取り扱いは統一されていたが、個々の手洗いや手袋の取り扱いについては徹底できていなかった。

(5) 「報告・連絡・相談」の徹底

総務課との連携強化に努めた。職員一人ひとりが自分の役割を理解し、わからないことは協力して相談し合い、助け合える職場づくりが大切である。

(6) 他部署との連携を図る

看護部と協議し、洗濯物の出し方や時間などを決めていたが、守られない場面があった。

今後も協議を継続して行い、円滑に業務を行えるようにする。

2. 職員の資質向上に対する対策

(1) 5 S 活動を継続し、全員の業務が安全に行えるようにする

全員が感染物の取扱いやガスの取り扱いができるようになった。

今後は自然災害など予期せぬ事態が起こりうることを想定し、全員が対処できるようにすることを目標としたい。

(2) 感染予防に対する知識を高める

施設内研修を受講し、感染対策の再確認、知識の取得に努めた。

<環境管理係>

設備の保守管理を堅持し、その周辺の整備等を通じて、安全で快適な環境の確立を目標とし、更に利用者のニーズにあった備品の製作、補修作業・修理など経費削減を兼ねた作業を実施した。また、公用車の車検、点検を実施した。

	(2025年度) 設備整備・環境整備・営繕業務・車両関係・地域連携など
4月	・飲料水塩素作成・水質検査・環境整備(芝刈り等)・中継槽清掃・害虫駆除 ・新人職員研修・ラントリー清掃・各種営繕業務・看護部運転者講習 ・車検(キャンター・ハイエース(4WD))・6検(ティ3)
5月	・飲料水塩素作成・水質検査・環境整備(芝刈り等)・害虫駆除・体験型交通安全講習参加・ラントリー清掃・各種営繕業務・車検(ミラ)・6検(ムーブ 1・アクア・るっか 2)
6月	・飲料水塩素作成・水質検査・環境整備(芝刈り等)・雨期点検・害虫駆除 ・厨房グリストラップ/フィルター清掃・ラントリー清掃・各部署エアコンフィルター清掃・各種営繕業務 ・車検(ティ4・ティ1・るっか 1)・3検(通勤用)・6検(ムーブ 2・レジアス 1)
7月	・飲料水塩素作成・水質検査・環境整備(芝刈り等)・夏季庭木剪定 ・第1向陽温泉タンク清掃/レジオネラ属菌検査・ラントリー清掃・各種営繕業務 ・害虫駆除・ワックス掛け・窓清掃・車検(コースター職員送迎用)・6検(ティ2)
8月	・飲料水塩素作成・水質検査・環境整備(芝刈り等)・安全運転講習会 ・安全運転管理者等法定講習参加・害虫駆除・ラントリー清掃・各種営繕業務 ・車検(ノア)・6検(レジアス 2・アルファード・キャリー・Nワゴン・タント・ハイゼット)
9月	・飲料水塩素作成・水質検査・環境整備(芝刈り等)・害虫駆除 ・受水槽/高架水槽清掃・ラントリー清掃・浴槽内シャワーヘッド清掃・台風対策 ・浴槽水/受水槽レジオネラ属菌検査・各種営繕業務・法人周辺道路清掃作業 ・3検(通勤用)・6検(クリッパー・シエンタ・コースター通所用)
10月	・飲料水塩素作成・水質検査・環境整備(芝刈り等)・ラントリー清掃・外灯タイマー変更 ・ふれあい祭り・害虫駆除・ヤステ駆除・各種営繕業務・6検(ティ3・ハイエース(4WD))
11月	・飲料水塩素作成・水質検査・環境整備(落葉清掃等)・害虫駆除・ヤステ駆除 ・中継槽清掃・各種営繕業務・クリスマスイルミネーション設置・ラントリー清掃・車検(通勤用・ムーブ 2)・3検(コースター職員送迎用)・6検(キャンター・ムーブ 1・アクア・ミラ・るっか 2号)
12月	・飲料水塩素作成・水質検査・環境整備(落葉清掃等)・ヤステ駆除・門松製作設置 ・光庭床洗浄・ラントリー清掃・講堂ベランダ清掃・各種営繕業務・害虫駆除 ・建物検査・公用車洗車/ワックス掛け・6検(レジアス 1・ティ4・ティ1・るっか 1)
1月	・飲料水塩素作成・水質検査・環境整備(落葉清掃等)・門松撤去・ラントリー清掃 ・クリスマスイルミネーション撤去・各部署エアコンフィルター清掃・浄化槽法定検査・各種営繕業務 ・6検(アルファード・ティ2)
2月	・飲料水塩素作成・水質検査・環境整備(落葉清掃等)・ラントリー清掃 ・自由研削砥石講習参加・法人境界線確認作業・各種営繕業務・降雪対応 ・車検(ハイゼット・タント)・3検(コースター職員送迎用)・6検(キャリー・レジアス 2号・Nワゴン)
3月	・飲料水塩素作成・水質検査・環境整備(落葉清掃等)・受水槽/高架水槽清掃 ・外灯タイマー変更・ラントリー清掃・各種営繕業務・車検(シエンタ)・3検(通勤用) ・6検(クリッパー・ノア・コースター通所用)

【2025年度公用車走行状況及び燃料使用状況】

車種		ハイエース コミューター	コースター 職員送迎	キャンター	キャリー	ハイエース (4WD)	アルファード	アクア	クリッパー	レジアス 1号	レジアス 2号	ハイゼット	タント	ミラ
燃料種別		レギュラー ガソリン	軽油	軽油	レギュラー ガソリン	レギュラー ガソリン	レギュラー ガソリン	レギュラー ガソリン	レギュラー ガソリン	レギュラー ガソリン	レギュラー ガソリン	レギュラー ガソリン	レギュラー ガソリン	レギュラー ガソリン
4月	走行(Km)	601	967	65	86	707	125	389	436	406	296	0	38	166
	燃料(L)	97.14	160.59	0.00	19.29	120.79	12.79	17.71	37.41	41.50	79.02	0.00	0.00	17.50
5月	走行(Km)	601	916	25	96	1,090	781	434	462	279	292	60	285	211
	燃料(L)	123.39	195.21	0.00	17.24	151.10	37.19	18.19	47.00	73.40	49.83	0.00	13.32	17.15
6月	走行(Km)	845	970	23	95	635	539	320	711	462	195	62	274	321
	燃料(L)	116.48	171.29	0.00	0.00	96.78	24.00	21.39	64.17	104.01	48.53	18.61	17.60	16.00
7月	走行(Km)	690	1,040	48	71	723	519	289	523	526	258	34	356	412
	燃料(L)	157.52	247.98	0.00	19.44	125.05	29.81	18.02	52.20	110.85	81.94	0.00	26.03	30.40
8月	走行(Km)	648	959	270	144	878	21	264	806	259	262	37	216	141
	燃料(L)	106.53	198.91	63.79	13.01	149.07	0.00	0.00	89.24	33.00	36.00	0.00	23.00	15.00
9月	走行(Km)	646	961	42	144	647	458	629	674	190	290	67	308	194
	燃料(L)	131.35	222.09	0.00	19.00	139.59	22.02	37.81	71.21	56.04	83.32	0.00	15.00	17.52
10月	走行(Km)	638	1,051	31	124	711	354	310	810	152	355	30	254	204
	燃料(L)	94.08	194.17	0.00	18.09	102.89	27.50	19.26	76.52	27.75	72.52	0.00	12.00	14.26
11月	走行(Km)	691	885	76	133	677	489	266	334	294	147	24	399	206
	燃料(L)	117.52	183.19	26.55	28.04	119.08	53.00	18.40	22.84	30.93	34.00	0.00	24.12	15.00
12月	走行(Km)	636	961	27	273	628	41	394	576	631	92	32	779	266
	燃料(L)	116.09	150.30	0.00	0.00	86.60	0.00	16.50	60.00	95.73	0.00	0.00	45.11	13.00
1月	走行(Km)	577	914	59	157	549	81	295	385	520	173	33	525	240
	燃料(L)	87.87	215.43	20.69	20.00	117.62	0.00	16.00	28.40	118.32	47.04	0.00	33.10	28.87
2月	走行(Km)	655	832	23	46	696	71	188	333	451	245	0	576	159
	燃料(L)	121.40	143.26	0.00	0.00	119.41	0.00	0.00	44.50	63.86	25.60	0.00	43.07	0.00
3月	走行(Km)	543	1,029	72	72	766	55	240	117	63	214	25	561	313
	燃料(L)	94.18	175.21	0.00	19.00	114.73	21.00	18.70	0.00	24.40	57.00	29.00	26.94	27.04
合計	走行(Km)	7,771	11,485	761	1,441	8,707	3,534	4,018	6,167	4,233	2,819	404	4,571	2,833
	燃料(L)	1,363.55	2,257.63	111.03	173.11	1,442.71	227.31	201.98	593.49	779.79	614.80	47.61	279.29	211.74
平均	走行(Km)	648	957	63	120	726	295	335	514	353	235	34	381	236
	燃料(L)	113.63	188.14	9.25	14.43	120.23	18.94	16.83	49.46	64.98	51.23	3.97	23.27	17.65

車種		ムーブ 1号	ムーブ 2号	Nワゴン	シエンタ	ハイエース (デイ2号)	ノア	ハイエース (デイ1号)	コースター	ハイエース (デイ3号)	ノア (5人乗車)	ハイエース (デイ4号)	ハイエース (5人乗車)
燃料種別		レギュラー ガソリン	レギュラー ガソリン	レギュラー ガソリン	レギュラー ガソリン	レギュラー ガソリン	レギュラー ガソリン	レギュラー ガソリン	軽油	レギュラー ガソリン	レギュラー ガソリン	レギュラー ガソリン	レギュラー ガソリン
4月	走行(Km)	186	547	150	89	919	1,163	1,408	1,729	919	481	1,852	495
	燃料(L)	14.53	23.20	0.00	0.00	168.96	138.30	258.91	312.09	177.60	62.35	81.38	218.93
5月	走行(Km)	463	823	254	229	843	1,136	1,465	1,453	843	364	1,368	630
	燃料(L)	19.00	39.30	19.60	20.00	164.16	124.79	231.01	287.01	205.74	46.24	85.15	184.48
6月	走行(Km)	599	562	423	273	747	1,181	1,192	1,623	747	418	1,684	635
	燃料(L)	52.00	38.13	23.81	0.00	149.47	142.52	252.21	344.67	208.19	49.68	102.45	228.97
7月	走行(Km)	551	711	421	136	783	1,299	1,567	1,551	783	589	1,759	318
	燃料(L)	32.49	44.51	23.41	24.50	161.80	167.20	275.01	370.50	274.88	68.82	55.93	295.26
8月	走行(Km)	377	646	194	214	860	1,200	1,323	1,143	860	830	1,416	655
	燃料(L)	27.14	40.40	19.00	0.00	181.65	162.86	251.43	234.23	245.60	102.44	141.67	205.02
9月	走行(Km)	527	770	275	308	951	1,180	1,333	1,201	951	709	1,866	639
	燃料(L)	36.98	39.14	22.55	30.02	189.41	157.17	296.70	306.24	216.10	70.13	109.04	284.35
10月	走行(Km)	504	833	381	131	727	1,263	1,373	1,602	727	955	1,902	582
	燃料(L)	39.00	41.47	18.00	27.40	149.51	133.00	246.04	317.34	216.18	116.84	123.19	265.31
11月	走行(Km)	454	500	302	243	870	1,093	1,203	1,211	870	663	1,801	971
	燃料(L)	20.00	32.58	22.33	0.00	146.56	135.69	194.63	205.34	174.66	85.99	147.34	249.77
12月	走行(Km)	611	826	338	77	657	948	1,347	542	657	846	1,695	1,120
	燃料(L)	38.90	38.99	0.00	0.00	135.19	101.62	189.30	83.42	227.66	71.96	129.17	224.88
1月	走行(Km)	466	734	284	78	776	938	1,043	538	776	793	1,731	1,081
	燃料(L)	25.02	36.76	38.63	0.00	124.89	114.87	175.44	129.20	182.64	101.95	167.89	235.66
2月	走行(Km)	512	499	140	10	769	914	1,247	286	769	695	1,614	1,184
	燃料(L)	39.00	18.60	0.00	30.64	138.98	96.54	227.23	44.00	191.13	70.43	186.20	175.86
3月	走行(Km)	193	548	145	89	926	1,043	1,386	936	926	622	2,102	1,025
	燃料(L)	14.00	37.92	10.58	0.00	162.14	114.67	233.86	170.00	206.39	70.22	153.49	294.19
合計	走行(Km)	5,443	7,999	3,307	1,877	9,828	13,358	15,887	13,815	9,828	7,965	20,790	9,335
	燃料(L)	358.06	431.00	197.91	132.56	1,872.72	1,589.23	2,831.77	2,804.04	2,526.77	917.05	1,482.90	2,862.68
平均	走行(Km)	454	667	276	156	819	1,113	1,324	1,151	819	664	1,733	778
	燃料(L)	29.84	35.92	16.49	11.05	156.06	132.44	235.98	233.67	210.56	76.42	123.58	238.56

【LPG・電気・水道月別消費量】

区分 月	LPG (m ³)	電気 (kwh)	水道 (m ³)
4月	2,540	134,500	2,625
5月	2,320	58,320	2,630
6月	2,345	98,920	2,593
7月	1,723	146,330	2,966
8月	2,040	167,830	2,853
9月	1,973	173,760	2,897
10月	2,191	152,820	2,711
11月	2,583	112,030	2,535
12月	2,588	93,700	2,886
1月	2,767	122,510	2,513
2月	2,701	142,910	2,271
3月	2,385	100,810	2,665
合計	28,156	1,504,440	32,145
平均	2,346	125,370	2,679

2025 年度

事 業 報 告 書

障害者支援施設

みなよし療護園

目 次

《各部門の活動報告》	ページ
1. 施 設 概 要	1
2. 事 業 報 告 概 要	2
3. 支 援 係	3～4
4. 看 護	5
5. リハビリテーション	6
6. 栄 養 管 理	7～8
7. 各 種 委 員 会	9～15
《資料編》	
8. 職員配置基準及び現員数	16
9. 職員の採用・退職状況	16
10. 利 用 者 状 況	17～18
11. 入 院 状 況	19
12. 月別在籍・面会等状況	20
13. 短期入所事業実績報告書	21
14. 実習生受け入れ状況	21
15. 施設見学受け入れ状況	21
16. 月別行事実施報告	22～25
17. 各種会議・研修会出会状況	26～27

施設の概要

施 設 の 名 称	み な よ し 療 護 園
施 設 の 種 類	障害者支援施設（生活介護・施設入所支援） 短期入所
施 設 長	川 路 昭 人
所 在 地	〒891-1206 鹿児島市皆与志町 1778 番地 TEL 099-238-3871 FAX 099-238-6250
沿 革	平成 6 年 4 月 1 日 身体障害者療護施設（定員 50 名） 短期入所（定員 5 名） 平成 18 年 12 月 1 日 定員の柔軟化の届け出により入所可能人数 の変更 身体障害者療護施設 （定員 50 名+2 名） 短期入所（定員 3 名） 平成 22 年 4 月 1 日 新事業体系へ移行 障害者支援施設 （定員 50 名+2 名） （生活介護・施設入所支援） 障害福祉サービス事業 短期入所（定員 3 名） 令和 5 年 3 月 1 日 障害者支援施設 （定員 50 名） 障害福祉サービス事業 短期入所（定員 5 名）
施 設 体 制	人員配置体制加算Ⅰ（1. 5 : 1） 常勤看護職員等配置加算 入浴支援加算 リハビリテーション加算 通院支援加算 福祉専門職員配置等加算Ⅰ 福祉専門職員配置等加算Ⅲ 重度障害者支援加算Ⅰ 栄養マネジメント加算 療養食加算 夜勤職員配置等加算Ⅲ

2025 年度 事業報告概要

2025 年度より、障害者支援施設において、地域関係者を含む外部の視点を取り入れた「地域連携推進会議」の開催ならびに、会議構成員による事業所見学の機会を設けることが義務化された。これに対し、事前準備を進めていたことから、年度当初より円滑に実施することができた。また、2026 年度より義務化される「地域移行意向確認」については、10 月に意向確認担当者を任命し、聞き取りを開始した。これにより、支援計画書への記載に向けた準備を整えることができた。

人材確保については、ここ数年の懸念事項であったものの、現在は余裕を持った人員配置を維持している。今後の安定的な人材確保を見据え、実習生の積極的な受け入れを行った。

経営面においては、入院日数の増加や、入院中の死亡による退所者が 4 名生じたことから、満床での稼働が困難な状況となった。一方で、短期入所事業においては、新規利用者 3 名を確保し、減収を最小限に抑えることができた。

業務効率化への取組としては、ICT 活用を推進するため、介護テクノロジー導入支援事業補助金を活用し、パソコン等のハード面を整備した。さらに、システム管理室の協力のもと、現場業務の効率向上に特化したアプリの作成を進め、運用に向けた準備を整えた。本格的な運用は 2026 年度から開始する予定である。

1. 支給決定をうけた補助金について

- ① 障害福祉人材確保・職場環境改善補助金
- ② 鹿児島県障害福祉サービス事業所等物価高騰対策支援給付金
- ③ 鹿児島市障害福祉サービス事業所等物価高騰対策支援給付金
- ④ 鹿児島市介護テクノロジー導入支援事業補助金(当補助金を利用しタブレット型 PC×13 台購入)

2. 苦情・相談受付状況

苦情受付件数 0 件 相談受付件数 0 件

3. 監査

<指導監査> 鹿児島市健康福祉局指導監査課

実施日 2025 年 11 月 17 日

文書指摘 なし

口頭指摘

(会計) 最終補正予算書と決算資料(資金収支)の当期末支払資金残高に差異がある。

(処遇) 地域連携推進会議の会議録をホームページ上に公表する事。

— 生活支援 —

1. 希望と生き甲斐のある生活 ・ サービスの充実 ・ 処遇技術の向上

- ・ 優しい笑顔・温かい言葉・思いやりの心・丁寧な介護。
- ・ 全ての利用者に等しく、尊厳を持って接する。
- ・ 常に自己啓発に取り組み、知識・支援技術の向上を図ると共に、メンタルサポートに努める。
- ・ 自らが考え、自らが行動できる職員の育成に努める。
- ・ 「明るく、住みやすく、希望のある生活を」という施設の理念に沿って、今年度は上記目標に取り組んだ。特に、職員育成については、職員個々に合わせた伝え方などを工夫しながら、一人一人が意識し取り組めるようにサポートした。職員一人一人の個性を大切にしながらチームとして利用者の支援に取り組めるよう次年度も継続した取り組みをしていく。

2. 支援について

毎月のモニタリング・評価、ニーズに対する取り組みの仕方等、職員により個人差が出てきていたため、今年度より、利用者のニーズ聞き取りの際に、サビ管も同席し、より利用者のニーズを引き出せるよう取り組んだ。また、面会時ご家族へ「気になる事はないか」その都度声をかけることで、ご家族のニーズも聞き出せ、充実した支援に繋がるよう取り組んだ。次年度も、同様の取り組みを継続し充実した日常生活が送れるよう支援していく。

地域移行等意向確認する中で、2名の利用者の希望があり、情報提供を行った。その際、1名の利用者に関しては金銭面で困難と判断され、移行を断念された。次年度より義務化される為、担当職員を中心に利用者が納得する形での生活のサポートができるよう、情報提供を継続していく。

骨折の既往歴のある利用者に対し介助方法を統一し取り組んでいたが、別な箇所の骨折をさせてしまい、ご家族へ不信感を与える結果となったしまった。日々の利用者一人一人とどのように向き合っているか、利用者の訴えに慣れてしまい気づきが足りないなど、丁寧な介助ができていなかったことが現状であった。虐待防止・身体拘束適正化委員会での話し合いをし、業務の見直しを図り、現在介助方法の見直しと、職員が時間に追われることなく安心安全な介助の提供ができるよう、入浴を週4回に変更し現在試している。今後も、全職員が人権擁護意識の下、職員一人一人が意識をもって取り組めるようサポートしていく。また、次年度より、虐待防止委員会と身体拘束委員会をわけ、委員会メンバーも分けえることで、多職種からの様々な意見を基により良い環境でより良い支援ができるよう進めていく。

利用者の身体機能の低下に伴い、次年度は、移乗サポートの福祉機器の導入を予定している。腰痛の職員も増えてきている為、今後も、情報収集を行いながら、利用者職員双方が安全安楽に、介助ができる工夫をしていく。

利用者のプライバシーの観点と、個室を希望する利用者が増えてきていることから、次年度は居室にカーテンレールを設置し、個室化を進めていく。施設の老朽化に伴い、修繕箇所がいくつかあるが業務に支障が出ないよう、今後も、定期点検・情報共有に努めていく。

【生活介護・施設入所支援】

① 日常生活上の支援

・食事

昨年度と同様に、隣接するやまびこ医療福祉センターの ST に助言をもらいながら、利用者の食事形態・自助具の見直しを行った。個々の状態に応じて、食堂での食事場所の検討や、居室食での対応と、状況に応じた対応を行っている。次年度も、多職種連携し、安心安全に快適な食事の提供ができるよう支援していく。

・排泄

排泄時、特にオムツ関しての皮膚トラブルやオムツの当て方等の問題が多く上がった。また身体機能の低下によりオムツ使用者も増えてきているため、研修会等の実施を次年度は計画し、職員の知識技術の向上につなげていく。また、オムツ外しの取り組みにつても継続して取り組んでいく。今後も、プライバシーに配慮しながら、安心・安全快適な排泄環境の提供に努めていく。

・入浴

安心安全な入浴介助の提供ができるよう、入浴日を週 4 回（2 グループ）に分け実施している。利用者の意見、職員の改善点・改善案を基に、現状に合った入浴の提供ができるように、次年度取り組みを継続していく。

・居住

今年度同室者の突然の大声や生活リズムの違い等から、居室変更を希望され利用者もあり、スクリーン等での対応をしてきたが、個室化が急務となってきた。完全な個室の提供は難しいが、カーテンレールを設置しプライベート空間を提供できるよう、次年度から徐々に進めていく。

② ADL の向上

支援員が日常生活の中で取り組めることを実践しながら、維持向上に努めた。次年度も、他職種連携を図りながら、情報共有し、利用者個々の残存機能の維持向上に努めていく。

③ 身体的介護・精神的介護（メンタルケア）の支援

機能の衰えや重複障害によるメンタル面の低下や、加齢に伴う認知機能の低下などもあり、一日の中でもメンタル面での変化もあり、状況に応じた声掛け対応が求められる事が増えてきている。職員間で情報共有をすることで、個々の利用者の精神状態に合わせた支援をおこなえている。次年度も、引き続き同様の対応ができるよう、継続した支援をしていく。

④ 車椅子等福祉用具の見直し、点検

隣接するやまびこ医療福祉センターにリハビリを委託したことで、機能低下に伴い、車椅子が体に合っていない利用者が増えていたが、今年度、6 名の利用者が現状にあった車椅子へ変更できている。次年度も、多職種連携し、利用者の身体状況、機能に合わせて随時見直し、日々の点検を行い、安心快適な生活が送れるように支援していく。

——看護——

看護方針

- ・看護の専門性を活かし安全で安心・信頼される看護を提供する。
- ・介護職、コメディカルスタッフとの連携・協働を図りチーム対応を提供する。

活動概要

<利用者状況>

年齢層： 24歳～86歳 男性 32名 女性 16名 平均年齢 65歳
退所： 5名（外部医療機関入院後死亡 3名、他施設へ入所 2名）
入所： 2名
胃瘻造設者：9名（うち経管栄養食提供者：8名）
尿道留置カテーテル：8名
インシュリン注射：2名
人工肛門（ストーマ）：2名

<感染症罹患状況>

新型コロナウイルス感染症：2名 インフルエンザ感染症 ：4名

<ワクチン接種状況>

インフルエンザワクチン接種：利用者、職員全員接種
带状疱疹ワクチン接種：9名 肺炎球菌ワクチン接種：1名

<外部入院>

2025年度：20件 延べ日数：578日
※2024年度 外部入院：20件 延べ日数：563日

<外部医療機関受診内容>

定期受診や治療目的：73件
胃瘻交換：18件（やまびこ医療福祉センターで実施）
超音波検査：12件 CT・レントゲン検査：14件 上部消化管内視鏡検査：1件

<定期往診>

皮膚科：39件 泌尿器科：90件 整形外科：3件
脳外科：20件（てんかん算定者除く）
歯科：（定期）194件 （臨時）211件

ー リハビリテーション ー

〈今年度の目標と方針〉

- ・利用者の状態に応じて機能訓練等を通し、身体的・精神的な癒し、機能維持、機能低下の遅延が図れるよう努めた。

1.訓練提供内容

- ・リハビリテーション計画書に基づいた機能訓練の提供
- ・高齢化に伴い呼吸・心肺機能・関節可動域及び疼痛など機能低下がみられてきている呼吸・心肺機能・可動域維持として、排痰・呼吸訓練や全身の柔軟性維持を行った運動機能の維持として床上動作・歩行・車いすエルゴ等で全身調整を行った
- ・自主訓練が可能な入所者には機能維持・向上を図るためにトレーニング内容を指導してきた

2.機能訓練計画

- ・計画書の作成
医師、看護師、生活支援員、その他の職種と協力し、利用者ごとに適時カンファレンスを行いリハビリテーション実施計画を作成・見直した
- ・計画書に基づいた実施状況を実施表・日報・月報としてまとめた

3.研修会・勉強会

- ・職員対象として腰痛の予防や対策について勉強会を実施した
- ・新人研修の一環として、機能訓練の与える効果・介助負担を軽減するコツ・ポジショニングに必要な視点などを指導

4.その他

やまびこ医療センターの外来担当者と連携することでより効率的な訓練が提供できた

—栄養管理係—

1. 食事の種類

- ・経口栄養法：一般食（常食、高血圧症食）、療養食
- ・経管栄養法

2. 栄養量

- ・給与栄養目標量（基準量）
エネルギー：1600kcal 蛋白質：60.0g 脂質：40.0g 食塩相当量：7g 未満
- ・実施給与栄養量（2025年4月1日～2026年3月31日の平均）
エネルギー：1626kcal 蛋白質：60.1g 脂質：43.7g 食塩相当量：6.3g

3. 食事形態

2026年3月31日現在

経口食：摂食・嚥下機能等に適する食事形態で提供

- ・主食：米飯（17名）・マンナンご飯（2名）・軟飯（5名）・全粥（9名）
すり粥（3名）・粥ゼリー（2名）
- ・副食：普通食（16名）・中キザミ食（7名）・まとまりキザミ食（12名）
ペースト食（3名）

4. 嗜好調査

実施期間：2026年2月1日～2月14日
対象者数：37名

5. 市場調査

実施期間：2026年2月4日～2月14日

6. 食事提供者数

【食種別】

2026年3月31日現在

一般食（非加算）			療養食（加算）		
常食	18名	36.7%	糖尿病食	2名	4.1%
脂質異常症食	1名	2.0%	脂質異常症食	11名	22.5%
胃潰瘍食	2名	4.1%	経管栄養食 （脂質異常症）	3名	6.1%
高血圧症食	4名	8.2%			
経口流動食	2名	4.1%			
経管栄養食	6名	12.2%			
計	33名	67.3%	計	16名	32.7%

7. 短期入所

利用者数：8名

8. 行事食

季節の食材を取り入れた松花堂弁当を提供。また、忘年会や外注のにぎり寿司などを提供し、利用者の方々から好評を得た。

実 施 日	献 立 内 容
4 月 25 日	ガーリックライス、真鯛のポワレ、鶏胸肉と春野菜のバロティース、カリフラワーのムース～ジュレ仕立て、空豆のポタージュ、びわ
5 月 5 日	オムライス、エビフライ、南瓜サラダ、コーンスープ、柏餅和菓子
5 月 17 日	幕ノ内弁当（外注）
6 月 13 日	明太クリームスパゲティ、ローストビーフ～おろし玉葱ソース、2 種のキッシュ、枝豆のムース～梅ジュレ、トマトコンソメスープ、季節のゼリー
7 月 7 日	ちらし寿司、茶碗蒸しのカニあんかけ、焼き茄子、七夕そうめん、七夕デザート
7 月 19 日	ご飯、鰻の蒲焼き、揚げ出し豆腐、茶碗蒸し、漬物盛合わせ、清汁、和菓子
8 月 22 日	助六、冷やしそば、お好み焼き、たこ焼き、牛肉ステーキ、焼鳥、ラザニア、チーズ天串、アメリカンドッグ、アジフライ、エビフライ、カニ爪フライ、ペペチー風枝豆、ケーキ、フルーツ
9 月 12 日	炊き込みご飯、秋鮭の馬鈴薯焼き、海老真じょパン挟み揚げ、里芋饅頭、鰻の土佐酢和え、長芋の冷製すまし汁、フルーツ
10 月 10 日	栗ご飯、ふぐの串揚げ、茄子と豚肉の和え物、揚げ野菜のサラダ、彩り浅漬け、赤だしきのこ汁、季節の和菓子
11 月 14 日	さつま芋ご飯、刺身の盛合せ、牛肉の温しゃぶゆず風味ポン酢、秋野菜きのこあんかけ、柿と春菊のごま和え、赤だし、抹茶プリン
12 月 19 日	ハンバーガー、フライドチキン、助六、味噌おでん、グラタン、ピザ（チーズ、マルゲリータ）、焼鳥、豚の角煮、合鴨パストラミ、骨付きフランク、キッシュ、エビフライ、アメリカンドッグ、マヨたまサラダロール、フライドポテト、サーモンのカルパッチョ、ケーキ、フルーツ
12 月 24 日	チキンライス、煮込みハンバーグ、ポテトサラダ、南瓜のスープ、クリスマスケーキ
1 月 16 日	前菜（だて巻き、合鴨、結び蒲鉾）、鯛の西京焼き、栗きんとん、数の子の土佐和え、カリフラワー柚子和え、炊き合わせ、刺身盛り、カニ爪の冷製オーロラソース、丹波黒豆、ゆかりご飯、吸い物、和菓子
2 月 20 日	握り寿司（外注）、天ぷら、牛肉彩りサラダ、真鯛の清汁、和菓子
3 月 3 日	ちらし寿司、天ぷら盛り、茶碗蒸しのカニあんかけ、吸い物、桜餅

2025 年度 各種委員会事業報告書

1. リスクマネジメント委員会

(1) リスクマネジメント年間報告

〈全体〉

・2025 年度：79 件

生活面（51 件） 医療面（21 件） 医療面（21 件）

→前年度より 30 件減

・インシデント

2024 年度：13 件 → 2025 年度：10 件（前年度より 3 件減）

・アクシデント

2024 年度：11 件 → 2025 年度：8 件（前年度より 3 件減）

※2025 年度 鹿児島市報告 3 件

〈内訳〉

6 月 G 氏 自己抜去

10 月 S 氏 右上腕骨骨折

11 月 M 氏 右足首捻挫

→ 全体として 30 件減（約 27.5%減）となり、一定の改善が認められる。

(2) 総括

2025 年度は前年度と比較し報告件数は減少したものの、確認不足・認識不足に起因する事案が多数を占めていることが明らかとなった。

特に医療面においては、薬に関する事案が 17 件と突出しており、人的要因によるリスクが顕在化している。

2026 年度においては、確認不足・認識不足の削減および薬関連事案の重点的低減に努め、安全で安定した支援体制の構築を目指す。

2. 行事委員会

(主な行事活動)

・ふれあいの日 2025 年 5 月 17 日（土）

・みなよし夏祭り 2025 年 8 月 22 日（金）

・向陽会ふれあい祭り 2025 年 10 月 25 日（土）

・忘年会（クリスマス） 2025 年 12 月 19 日（金）

・お寿司の日 2026 年 2 月 20 日（金）

(生活空間の設営の充実)

外出が難しい方も多く園内での生活が中心となる為、季節感の充実に努め四季の移り変わり施設内でも感じてもらう雰囲気作りに努めた。又、日常生活に豊かで思い出深いものになるように飾りつけを工夫し支援する事で、利用者の精神的安定や生活空間の維持・向上にも繋がった。

3. 日中活動

個別支援計画書に基づいて余暇活動の一環として、利用者一人ひとりの特性を踏まえた上で個々のニーズに沿った支援を行った。日中支援を通して心豊かで充実した生活が送れるように支援した。また、レクリエーション委員会と協力し、対応を行った。

＜日中支援内容＞

ミニドライブ 風船バレー オセロ 将棋 音楽レクリエーション
園庭内の散歩 花見 ボッチャ めり絵 ボーリング カーリング

4. 個別支援

利用者のニーズや希望に沿って出来るだけ多くの個別支援実施を心掛けた。
希望利用者、担当職員に少しでも早くお伝えする事で、早めの準備、計画出来るよう心掛けた。また、個別支援経験のない職員へできるだけ多く参加してもらった。
長時間外出等できない希望利用者に関してはミニドライブとして短時間でも外出する楽しさ、季節や気候を感じてもらいリフレッシュして頂いた。令和8年度も希望者が満足できるような計画を心掛けたい。

(外出、ショッピング、帰省等) 実施利用者 15 人

アミュプラザ、イオンモール鹿児島、その他量販店へのショッピング。
自宅への帰省。食事。その他。

(短時間のドライブ) 実施利用者 10 人

(桜の時期に健康の森公園、都市農業センター、チェスト館周辺へ)

5. 広報委員会

＜広報誌「みなよしだより」の制作＞

- ・ 広報誌の発行・発送・掲示は5月・9月・1月に予定通り行うことができた。新規利用者さまも増え、当施設の行事や日常の様子を知っていただくために内容や写真を充実

させ、情報提供できるよう努めた。

- ・今年度もご家族の面会が1階でのみ実施とのことで、待ち時間に見ていただけるよう引き続き1階の中廊下にも拡大印刷を設置した。ご家族だけでなくキーパーソン以外のご親族、知人など多くの方に広報誌をご覧いただけた。

〈データ管理・カメラ内整理〉

- ・カメラ内整理をその都度行い、フォルダごとに画像データをまとめた。
- ・やまびこより譲り受けたパソコンを新たに広報専用パソコンとして使用したことにより、管理作業がスムーズに行えるようになった。

〈ホームページ活動報告〉

- ・前半はホームページ掲載が滞っていたが、後半はみなよしだより制作の空き時間を使用し作成することができ行事や余暇活動など様々な話題を掲載できた。

〈アルバム制作〉

- ・広報誌制作を職員2名で組んでもらえることで作業を分担化でき、アルバム制作を進めることができた。引き続き、都度アルバムを制作ができるよう努める。

2025年度は少ない人数での活動となったが、協力して活動し年3回広報誌を発行することができた。アルバムの印刷も広報誌制作と同時に進めることができ効率化が図れた。また、ふれあい祭りの日には20年間の広報誌を展示し、多くの来訪者にご覧いただけた。

2026年度は新たに2名加わったため、新たな視点からの広報誌が作成できるようにする。また、ホームページを毎月更新できるよう定着化に努める。

6. 研修企画委員会

①主な活動

〈職員会議〉 月1回 総会数12回/年

- ・各種委員会報告
- ・研修報告
- ・各種通達事項（虐待事例、事務連絡等）

〈職員研修〉 月1回 総会数12回/年

- ・リスクマネジメント
- ・食中毒
- ・ケースカンファレンス
- ・感染症
- ・身体拘束、虐待防止
- ・権利擁護
- ・BCP 等

〈生活支援会議〉 年1回

- ・業務改善、共通認識の確認

〈緊急時訓練〉 9回/年

- ・夜間の緊急搬送を想定した実技訓練

②総括

- ・職員会議では職員間での情報共有の場を設けて会議内容を報告・伝達する事で連携、共通認識を図ることが出来た。
- ・今年度の生活支援員会議では、少グループにて開催して活発な意見交換の機会となった。建設的な意見を出し合い、業務改善に繋げて共通認識を深めサービスの資質向上に努めることができた。
- ・研修会を定期的に行うことが出来た。(感染症、食中毒、障害者虐待防止、権利擁護、身体拘束、BCP、リスクマネジメント) 知識を習得する場を設けて、支援の質の向上に努める事が出来た。
- ・緊急時対応(CPR訓練)にて心肺蘇生の一連の流れを確認・実施することが出来た。今年度は全員参加することが出来て、緊急時の対応への意識や知識を備える場を設ける事が出来た。

7. 記録委員会

- ・記録委員を中心に記録内容の充実化を図り、生活面、医療面の情報共有を強化し、利用者の変化に柔軟に対応することができた。また、フローシートの簡略化を図り、職員の作業効率を上げる事が出来た。
- ・新規入所者の情報を纏め、支援員、看護師、各訓練の先生方と密な情報共有を図る事が出来た。

8. 環境整備

①みなよし療護園施設内の環境整備を行った。

通常的环境整備に加え、利用者にとって、生活をする場所という観点から、視野を広げた目線でどのようにすれば住みやすい施設になるかを考えた。また、職員が働きやすい環境づくりも目的とした活動を行った。

②破損箇所を修繕し利用者、職員が安心して生活、仕事ができる環境づくりを行う事が出来た。

③破損個所があれば破損状況の確認、対応先を検討し環境管理課又は業者に修理の依頼（宮繕願い）をした。

- ・入浴用のストレッチャーの修理、入浴専用の枕の発注、衣類洗濯機のメンテナンスのオイルの発注、衣類乾燥機の購入及び部品購入、トイレの水漏れ、コンセントの修理等を環境管理課又は関係業者に依頼し修理出来た。

④定期的にエアコンのフィルター清掃や公用車清掃、屋上の排水溝確認、中庭清掃、その他環境整備を必要に応じて実施した。

- ・年に2回エアコンの清掃、2か月に1回屋上の排水溝の点検、1年に2回池のフィルターの交換、中庭清掃を勤務時間内で行う事が出来た。

9. レクリエーション事業報告

＜レクリエーション委員会委員会グループ分け＞

6名レク委員がいる為3名ずつの2グループで2カ月周期・3カ月周期で担当を振り分け全職員にレクリエーションの実施案を提示し、実施して頂く。季節ごとの行事や準備についても行事委員会と連携を図り、余暇の一環として実施を行なっている。

＜実施表の作成＞

昨年同様実施有無の確認が出来るように実施表を使用し対応を行った。まんべんなく実施出来るように見えるか効果敵であると感じている。

＜レク委員での年2回による話し合い＞

4月に2025年度実施に向けた方向性の決定と昨年度の反省の為の話し合いを実施し、今後のレクリエーション委員会に活かすための話し合いの場を設ける。

3月には、2026年度新レクリエーション委員会のメンバーも加わり、レクリエーションの意義・目的や来年度に向けての活動の方向性の話し合いを行った。

10. 給食委員会

①目 標

利用者の高齢化・重症化に伴い、ニーズが多様化するなかで、摂食・嚥下機能に適した食事を提供すると同時に、食事内容の充実を図り、利用者の健康を維持・増進させるための活動を展開する。

②委員の構成

- | | | |
|--------|----------|--------|
| 〈1〉園 長 | 〈2〉栄養士 | 〈3〉調理師 |
| 〈4〉看護師 | 〈5〉生活支援員 | |

③給食委員会での協議事項

開 催 月 日	議 題
4 月 18 日	○ 食事内容検討・変更（4 名） ○ 汁椀変更について
5 月 16 日	○ 食事内容検討・変更（4 名） ○ 汁物の提供回数について
6 月 20 日	○ 食事内容検討・変更（5 名）
7 月 18 日	○ 食事内容検討・変更（2 名） ○ パンの提供について
8 月 15 日	○ 食事内容検討・変更（1 名） ○ 補助食品について
9 月 19 日	○ 食事内容検討・変更（4 名）
10 月 21 日	○ 食事内容検討・変更（3 名） ○ 刺身提供について
11 月 26 日	○ 食事内容検討・変更（2 名） ○ 経管栄養剤について
12 月 19 日	○ 食事内容検討・変更（2 名） ○ 備蓄食の提供について ○ 年末年始の献立について
1 月 16 日	○ 食事内容検討・変更（9 名） ○ 嗜好調査内容検討 ○ 食具必要本数見直し ○ 朝食時間について ○ 献立内容について
2 月 20 日	○ 食事内容検討・変更（3 名） ○ 嗜好調査報告
3 月 20 日	○ 食事内容検討・変更（3 名）

11. 防災委員会

<活動報告>

5 月 7 日：総合防災訓練（火災想定 やまびこ、たらちね合同訓練）

7 月 15 日：防犯訓練（不審者侵入想定）

9 月 19 日：防災訓練（風水害想定）

11 月 5 日：総合防災訓練（火災想定 やまびこ、たらちね合同訓練）

2 月 24 日：防災訓練（夜間想定 地震火災）

3 月 17 日：防災訓練（夜間想定 火災）

12. 虐待防止、身体拘束適正化検討委員会

実施日		
4 月 18 日	虐待防止委員会定例会議	
4 月 18 日	虐待、人権擁護研修（アンガーマネジメント） ストレスチェック（チェックシート使用）	
5 月 16 日	虐待防止委員会定例会議	
5 月 16 日	身体拘束研修会（不適切とは）	
6 月 10 日	虐待防止委員会定例会議	
7 月 18 日	虐待防止委員会定例会議	
8 月 19 日	虐待防止委員会定例会議	
9 月 16 日	虐待防止委員会定例会議	
10 月 10 日	虐待防止委員会定例会議	
11 月 14 日	虐待防止委員会定例会議	
11 月 19 日	新規採用職員対象研修会（虐待防止、身体拘束関連）	新入職員 2 名
12 月 9 日	虐待防止委員会定例会議	
1 月 16 日	虐待防止委員会定例会議	
2 月 10 日	虐待防止委員会定例会議	
2 月 10 日	新規採用職員対象研修会（虐待防止、身体拘束関連）	新入職員 1 名
3 月 13 日	虐待防止委員会定例会議	

《資 料 編》

職員配置基準及び現員数

2026年 3月31日現在

	定 数	現 員	備 考
施 設 長	1	1	
事 務 員	1	2	
サービス管理 責任者	1	1	
生活支援員	20	32	内パート(1)
理学療法士	1	1	
医 師	1	(2)	嘱託医
看 護 師	1	4	
管理栄養士	1	1	
調 理 員 等		4	
合 計	27	46 (2)	

職員の採用・退職状況

2026年 3月31日現在

年 月 日	職 種	退 職	採 用	備 考
2025.4.1	調 理 師	1		やまびこへ異動
2025.4.1	調 理 師		1	新規採用
2025.6.30	生活支援員	1		自己都合
2025.7.31	看 護 師	1		自己都合
2025.7.31	生活支援員	1		自己都合
2025.9.1	看 護 師		1	新規採用
2025.10.1	生活支援員	1		やまびこへ異動
2025.10.1	理学療法士		1	新規採用
2025.12.1	生活支援員		1	新規採用
2026.3.25	理学療法士	1		自己都合
合 計		6	4	

利用者状況

2026年 3月31日現在

1. 地域(市町村)別利用者数

市町村名	男	女	計	市町村名	男	女	計
鹿 児 島 市	13	8	21	始 良 市	2	0	2
南 さ つ ま 市	2	0	2	伊 佐 市	1	0	1
薩 摩 川 内 市	1	1	2	さ つ ま 町	3	0	3
枕 崎 市	2	0	2	天 城 町	0	1	1
阿 久 根 市	1	0	1	与 論 町	1	0	1
指 宿 市	0	0	0	徳 之 島 町	0	1	1
西 之 表 市	0	3	3	伊 仙 町	0	1	1
日 置 市	3	0	3				
曾 於 市	1	0	1				
南 九 州 市	1	1	2				
垂 水 市	1	0	1	合 計	32	16	48

2. 年齢別・性別利用者数

年齢	男	女	計	年齢	男	女	計
～24	0	1	1	55～59	4	1	5
25～29	0	0	0	60～64	4	4	8
30～34	0	0	0	65～69	7	2	9
35～39	0	0	0	70～	13	6	19
40～44	0	0	0	最低年齢	46	24	
45～49	1	1	2	最高年齢	87	85	
50～54	3	1	4	平均年齢	66.7	63.6	65.6

3. 入所直前の状況

	自 宅	病 院	児童施設	他身障施設	その他	計
男	6	18	3	5	0	32
女	3	7	0	6	0	16
計	9	25	3	11	0	48

4. 障害の種類別・等級別状況

	男		女		計	
	1 級	2 級	1 級	2 級	1 級	2 級
肢 体 不 自 由	23	8	10	5	36	15
聴 覚 障 害	0	0	0	0	0	0
精 神 障 害	0	2	0	0	0	2
内 部 障 害	0	0	0	0	0	0
重 複 障 害	0	0	0	0	0	0
合 計	23	10	10	5	36	17
	33		15		48	

5. 障害の原因状況

発 症 類 別	男	女	計
脳 性 麻 痺	10	8	18
脊 髄・頸 椎 損 傷	3	0	3
脳血管障害後遺症	13	3	16
脳 膜 炎 後 遺 症	0	1	1
外 傷 後 遺 症	1	1	2
関 節 リ ウ マ チ	0	0	0
進 行 性 筋 萎 縮 症	0	0	0
そ の 他 の 難 病	1	0	1
そ の 他 の 疾 患	6	1	7
計	34	14	48

6. 障害支援区分状況

定 員 数	現 員 数	障 害 支 援 区 分				
		区分6	区分5	区分4	区分3以下	平均区分
50名	48名	43名 (89.6%)	3名 (6.3%)	2名 (4.2%)	0名 (0%)	5.9

入院状況（他医療機関）

氏 名	入 院 期 間	日 数	医 療 機 関 名	病 名
T. H	自 7. 4. 1 至 7. 4. 7	7	いまきいれ総合病院	腎臓
T. H	自 7. 4. 15 至 7. 4. 23	9	いまきいれ総合病院	腎臓
I. Y	自 7. 7. 6 至 7. 7. 24	19	今村総合病院	虫垂炎
I. Y	自 7. 7. 31 至 7. 10. 6	68	鹿児島市立病院	腸閉塞
G. Y	自 7. 8. 6 至 7. 9. 3	28	植村病院	呼吸不全
T. M	自 7. 8. 13 至 7. 10. 1	50	メンタルホスピタル	統合失調症
K. M	自 7. 9. 22 至 7. 12. 1	71	霧島病院	頸髄症
H. M	自 7. 11. 3 至 8. 2. 16	106	鹿児島大学病院 菊野病院	腫瘍摘出手術・訓練
K. T	自 7. 11. 7 至 7. 12. 5	28	徳洲会病院	右足浮腫検査入院
T. T	自 7. 11. 9 至 7. 11. 19	11	今給黎病院	直腸がん
K. K	自 7. 11. 26 至 7. 12. 4	8	鹿児島市立病院	癌摘出手術
T. T	自 7. 12. 1 至 7. 12. 18	17	今給黎病院	直腸がん(ストーマ造設)
N. K	自 7. 12. 11 至 8. 2. 28	79	植村病院	呼吸不全
F. K	自 7. 12. 28 至 8. 1. 26	30	今村総合病院	尿路感染
M. M	自 8. 1. 15 至 8. 3. 2	47	今給黎病院	肺炎
	小 計	578		

月別入退所状況

月	初 日 在籍人員	退所人員	入所人員	月 末 在籍人員	備 考
4月	49 名		1 名	50 名	4/22入所
5月	50 名			50 名	
6月	50 名	1 名	1 名	50 名	6/2退所 6/3入所
7月	50 名			50 名	
8月	50 名			50 名	
9月	50 名			50 名	
10月	50 名			50 名	
11月	50 名	1 名		49 名	11/22退所
12月	50 名	1 名	1 名	49 名	12/1入所 12/21退所
1月	49 名			49 名	
2月	49 名	1 名		49 名	2/28退所
3月	48 名			48 名	

面会・外出・外泊・一時帰省状況

	面 会		外 泊		外 出
	面会者数	面会件数	泊 数	件 数	件 数
4月	21	17	7	5	6
5月	14	8	11	9	13
6月	15	11	7	5	7
7月	28	20	8	7	7
8月	22	17	12	8	8
9月	39	24	8	7	5
10月	74	41	9	7	4
11月	21	14	12	10	3
12月	37	24	8	7	3
1月	33	21	11	9	5
2月	25	18	9	7	3
3月	23	16	8	6	14
合 計	352	231	110	87	78
(月平均)	(29.3)	(19.3)	(9.2)	(7.3)	(6.5)

障害福祉サービス事業短期入所実績報告書

2025年度

月	利 用 者 数	延 日 数
4 月	3 名	39 日
5 月	3 名	41 日
6 月	4 名	50 日
7 月	3 名	55 日
8 月	4 名	57 日
9 月	3 名	56 日
10 月	4 名	63 日
11 月	4 名	55 日
12 月	3 名	24 日
1 月	2 名	20 日
2 月	3 名	23 日
3 月	5 名	37 日
合 計	41 名	520 日

実習生受け入れ状況

学 校	学科等	期 間	人 数
鹿児島医療福祉専門学校	介護福祉学科	2025. 5. 19～5. 31	2 名
		2025. 9. 9～10. 17	2 名
		2026. 2. 26～3. 6	2 名
鹿児島医療技術専門学校	介護福祉科	2025. 10. 15～10. 30	2 名
		2025. 11. 19～12. 4	2 名
鹿児島国際大学	社会福祉学科	2025. 8. 4～9. 2	2 名
		2026. 2. 2～2. 13	2 名
鹿児島女子短期大学	生活科学科	2026. 2. 2～2. 19	2 名
合 計			16 名

施設見学受け入れ状況

月	団 体 名	件 数
5月	個人（短期入所2件）	2 件
6月	個人（短期入所）	1 件
8月	個人（入所希望）	1 件
10月	佐賀オークス	1 件
11月	しょうぶ学園	1 件
1月	個人（短期入所2件）	2 件
2月	個人（入所希望）	1 件
合 計		9 件

2025年度月別行事実施報告

4 月			5 月			6 月		
1	火	入社式・新規採用職員研修	1	木		1	日	
2	水	浄化槽定期点検	2	金		2	月	
3	木		3	土		3	火	防音室工事(～6/18)
4	金		4	日		4	水	
5	土		5	月		5	木	外調機点検
6	日		6	火		6	金	
7	月	会計監査	7	水	総合防災訓練 浄化槽定期点検	7	土	
8	火		8	木	ガス発電導入検討会	8	日	
9	水		9	金		9	月	法人連絡会
10	木		10	土		10	火	職員会議
11	金		11	日		11	水	
12	土		12	月	法人連絡会 事務効率化会議	12	木	九障協施設長・リーダー研修 (～6/13 熊本)
13	日		13	火	入所検討委員会	13	金	
14	月	法人連絡会 エレベーター定期点検	14	水	みなよし構想検討会 健康経営管理者向け研修会	14	土	
15	火		15	木	防犯設備点検	15	日	
16	水	職員定期健康診断	16	金	職員会議	16	月	
17	木	職員定期健康診断	17	土	ふれあいの日・家族会	17	火	BCP会議 支援課・総務課会議
18	金	職員定期健康診断 職員会議	18	日		18	水	浄化槽定期点検
19	土		19	月		19	木	
20	日		20	火		20	金	評議員会
21	月		21	水	会計監査 浄化槽定期点検	21	土	
22	火	みなよし構想検討会	22	木	会計監査	22	日	
23	水		23	金		23	月	
24	木	消防設備点検	24	土		24	火	
25	金		25	日		25	水	姿勢カルテ
26	土		26	月		26	木	
27	日		27	火	監事監査 苦情解決第三者委員会	27	金	
28	月	鹿児島県障害者支援施設協 議会総会	28	水		28	土	
29	火		29	木	理事会	29	日	ふうせんバレーボール大会
30	水	認定区分調査(さつま町)	30	金		30	月	
			31	土				

2025年度月別行事実施報告

7 月			8 月			9 月		
1	火		1	金		1	月	
2	水	浄化槽定期点検	2	土		2	火	
3	木	就職ガイダンス	3	日		3	水	
4	金		4	月		4	木	
5	土		5	火		5	金	ICT運用検討会
6	日		6	水	浄化槽定期点検 認定区分調査	6	土	
7	月		7	木		7	日	
8	火	ワックス清掃	8	金		8	月	法人連絡会
9	水	ワックス清掃	9	土		9	火	
10	木		10	日		10	水	全国身体障害者施設協議会 研究大会(～9/13 富山)
11	金	入所検討委員会	11	月		11	木	
12	土		12	火		12	金	
13	日		13	水		13	土	
14	月	法人連絡会	14	木		14	日	
15	火		15	金		15	月	
16	水	参議院選挙不在者投票 認定区分調査	16	土		16	火	職員会議
17	木	視覚聴覚言語障害者支援体 制加算算定検討会(レクストン)	17	日		17	水	浄化槽定期点検
18	金	地域連携推進会議 職員会議	18	月	法人連絡会 2025年度四半期経営報告会	18	木	
19	土		19	火	職員会議 入所検討委員会	19	金	
20	日		20	水		20	土	
21	月		21	木	浄化槽定期点検	21	日	
22	火	エレベーター定期点検	22	金	みなよし夏まつり	22	月	
23	水	姿勢カルテ	23	土		23	火	
24	木		24	日		24	水	
25	金		25	月	向陽会大規模修繕検討会	25	木	
26	土		26	火	防犯設備点検 公用車点検	26	金	理事会
27	日		27	水		27	土	
28	月		28	木		28	日	
29	火	担当者会議	29	金		29	月	
30	水		30	土		30	火	
31	木		31	日				

2025年度月別行事実施報告

10 月			11 月			12 月		
1	水		1	土		1	月	
2	木		2	日		2	火	半期経営報告会 内部経理監査
3	金	施設見学(佐賀オークス)	3	月		3	水	
4	土		4	火		4	木	
5	日		5	水	総合防災訓練 浄化槽定期点検	5	金	
6	月	経営幹部会	6	木		6	土	
7	火		7	金	RPA説明会	7	日	
8	水		8	土		8	月	経営幹部会 認定区分調査
9	木		9	日		9	火	
10	金	職員会議	10	月		10	水	エコキュート点検
11	土		11	火	防犯設備点検	11	木	
12	日		12	水		12	金	
13	月		13	木		13	土	
14	火		14	金	職員会議	14	日	
15	水	直接処遇職員健康診断 浄化槽定期点検	15	土		15	月	
16	木	直接処遇職員健康診断	16	日		16	火	
17	金		17	月	鹿児島市指導監査	17	水	浄化槽定期点検
18	土		18	火	会計監査	18	木	
19	日		19	水	浄化槽定期点検	19	金	みなよし利用者忘年会
20	月		20	木		20	土	
21	火		21	金		21	日	
22	水		22	土		22	月	
23	木		23	日		23	火	
24	金		24	月		24	水	
25	土	向陽会ふれあい祭り	25	火	予算作成説明会	25	木	
26	日		26	水	施設見学(しょうぶ学園)	26	金	向陽会仕事納め式・忘年会 防犯設備点検
27	月		27	木		27	土	
28	火	認定区分調査	28	金		28	日	
29	水		29	土		29	月	
30	木	エレベーター定期点検	30	日		30	火	
31	金	公用車点検				31	水	

2025年度月別行事実施報告

1 月			2 月			3 月		
1	木		1	日		1	日	
2	金		2	月		2	月	
3	土		3	火	衆議院選挙不在者投票	3	火	
4	日		4	水	九州障害者支援施設研究大会(～2/6 福岡)	4	水	
5	月	向陽会仕事始め式	5	木		5	木	
6	火	RPA説明会	6	金		6	金	
7	水	浄化槽定期点検	7	土		7	土	
8	木		8	日		8	日	
9	金	県障協総会・研修会	9	月	経営幹部会 火災報知器移設作業	9	月	経営幹部会
10	土		10	火	職員会議	10	火	
11	日		11	水		11	水	健康経営会議 入所検討委員会
12	月		12	木	RPA伴走サポート	12	木	
13	火		13	金		13	金	職員会議
14	水		14	土		14	土	
15	木		15	日		15	日	
16	金	職員会議	16	月		16	月	理事会
17	土		17	火		17	火	
18	日		18	水	浄化槽定期点検	18	水	
19	月	経営幹部会	19	木		19	木	
20	火		20	金	すしの日 公用車点検	20	金	
21	水	浄化槽定期点検	21	土		21	土	
22	木		22	日		22	日	
23	金		23	月		23	月	
24	土		24	火	経費精算システム操作研修	24	火	
25	日		25	水	理事会 浄化槽法定検査	25	水	
26	月		26	木		26	木	
27	火	エレベーター定期点検	27	金		27	金	
28	水		28	土		28	土	
29	木	認定区分調査				29	日	
30	金					30	月	
31	土					31	火	

2025年度 各種会議・研修会出会状況

NO. 1

NO.	会 期	場 所	参 加 者	会 の 名 称	主 催
1	自 6/ 6 至 6/ 6	カクイックス交流センター	武田	介護職スキルアップ研修 (感染症予防対策・褥瘡ケア&緊急対応)	鹿児島県社会福祉協議会
2	自 6/ 12 至 6/ 13	熊本ホテルキャッスル	園長、本重	九州障害者支援施設協議会施設長 リーダー職員研修会	九州障害者支援施設協議会
3	自 6/ 17 至 6/ 17	みなよし療護園 会議室	岡本	身体拘束・虐待防止に関する研修 (オンライン研修)	介護労働安定センター 鹿児島支部
4	自 6/ 20 至 6/ 20	カクイックス交流センター	寶	介護職スキルアップ研修 (体位変換・ポジショニングケア)	鹿児島県社会福祉協議会
5	自 6/ 25 至 6/ 26	みなよし療護園 会議室	肥後	社会福祉施設等中堅職員研修 (オンライン研修)	鹿児島県社会福祉協議会
6	自 7/ 10 至 7/ 10	カクイックス交流センター	仮屋崎	介護職スキルアップ研修(口腔ケア)	鹿児島県社会福祉協議会
7	自 8/ 5 至 8/ 5	鹿児島県社会福祉センター	平原	救急法研修	鹿児島県社会福祉協議会
8	自 8/ 28 至 8/ 28	鹿児島市中央公民館	葦澤	給食施設従事者研修(管理栄養士)	鹿児島市保健所
9	自 9/ 10 至 9/ 13	オーバード・ホール (富山市)	園長、満重 下野、岡本	全国身体障害者施設協議会研究大会	全国身体障害者施設協議会
10	自 9/ 14 至 9/ 15	福祉情報センター博多校	福村、山之内	ガイドヘルパー(全身性障がい)コース 移動介護従事者養成研修(前期)	福祉情報センター博多校
11	自 9/ 25 至 9/ 25	カクイックス交流センター	伊倉	介護職スキルアップ研修 (体位変換・ポジショニングケア)	鹿児島県社会福祉協議会
12	自 9/ 28 至 9/ 29	福祉情報センター博多校	福村、山之内	ガイドヘルパー(全身性障がい)コース 移動介護従事者養成研修(後期)	福祉情報センター博多校
13	自 10/ 6 至 10/ 7	みなよし療護園 会議室	秋廣	社会福祉施設等監督職員研修 (オンライン研修)	鹿児島県社会福祉協議会
14	自 10/ 8 至 10/ 8	みなよし療護園 会議室	本重	カスタマーハラスメント対応研修 (オンライン研修)	鹿児島県社会福祉協議会
15	自 10/ 10 至 10/ 10	みなよし療護園 会議室	藤原	福祉サービス相談苦情解決研修(初級) (オンライン研修)	鹿児島県社会福祉協議会

2025年度 各種会議・研修会出会状況

NO. 2

NO.	会 期	場 所	参 加 者	会 の 名 称	主 催
16	自 11/ 6 至 11/ 6	カクイックス交流センター	江藤	介護職スキルアップ研修(排泄ケアⅠ)	鹿児島県社会福祉協議会
17	自 11/ 14 至 11/ 14	カクイックス交流センター	中島	介護レクリエーション研修	鹿児島県社会福祉協議会
18	自 11/ 27 至 11/ 27	カクイックス交流センター	高谷	介護職スキルアップ研修(認定証ケア)	鹿児島県社会福祉協議会
19	自 11/ 28 至 11/ 28	カクイックス交流センター	北原	介護職スキルアップ研修 (感染症予防対策・褥瘡ケア&緊急対応)	鹿児島県社会福祉協議会
20	自 12/ 2 至 12/ 2	みなよし療護園 会議室	秋廣	サービス管理責任者実践研修(講義) (オンライン研修)	鹿児島県社会福祉協議会
21	自 12/ 12 至 12/ 12	カクイックス交流センター	西	介護職スキルアップ研修(口腔ケア)	鹿児島県社会福祉協議会
22	自 1/ 9 至 1/ 9	ホテルレクストン鹿児島	園長、中森、新谷 島中、葦澤、大山	鹿児島県障害者支援施設協議会 職員研修会	鹿児島県障害者支援施設 協議会
23	自 1/ 14 至 1/ 15	みなよし療護園 会議室	秋廣	サービス管理責任者実践研修(演習) (オンライン研修)	鹿児島県社会福祉協議会
24	自 2/ 4 至 2/ 6	ヒルトン福岡シーホーク	園長、北原 赤間	九州障害者支援施設研究大会	九州障害者支援施設協議会
25	自 2/ 5 至 2/ 5	みなよし療護園 会議室	秋廣	福祉サービス苦情対応研修(中級)	鹿児島県社会福祉協議会